

2016（平成28）年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第17号



沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

2016（平成28）年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第17号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：平成28年度 第26回児童・生徒の平和メッセージ展

図画部門・小学校低学年の部

最優秀賞「おにぎりたべればみんななかよし」

石垣市立真喜良小学校2年 西村美音

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念

はじめに

I 概 要

1 沿革	1
2 日誌(抄)	4
3 施設	7
4 組織	10
5 決算	16
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	17

II 調査研究事業

1 特別企画展のための研究調査	18
2 類似館調査	19
3 日本平和博物館会議	21

III 展示企画事業

1 常設展	22
2 企画展	
(1) 第17回特別企画展「ウチナーンチュが見た満洲～『旧満洲国』・『偽満洲国』～」	24
(2) 子ども・プロセス企画展	25

IV 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録	27
2 資料貸出	
(1) 写真パネル・実物その他	27
(2) 証言映像の貸出	29
3 撮影・掲載等利用一覧	30

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第26回「児童・生徒の平和メッセージ展」	35
(2) 親子ビデオ上映会及び沖縄戦関連ビデオ上映会	37
(3) 夏休み子ども向け企画	37

2 教育機関との連携

(1) 平和講話	39
(2) 博物館学芸員実習	39
(3) 児童・生徒の職場体験	40

3 講座・講習会・研修会

(1) 特別講座	41
(2) 沖縄県平和祈念資料館講習会	41
(3) 平成28年度沖縄県博物館協会・研修会	42
(4) 平成28年度沖縄県地域史協議会	43
(5) 県立学校初任者向け講習会	44
(6) 島尻地区小中教頭会研修	44
(7) JICA主催「課題別研修事業」	44
(8) 沖縄県新規採用職員後期研修会	45

VI	広報活動・出版等	
	刊行物	45
VII	その他の事業	
	1 「戦世の記憶」平和発信強化事業	46
	2 「JICA草の根技術協力事業」	48
	3 その他展示会等	49
VIII	入館者状況	50
	1 月別入館者数	
	2 年度別入館者数 慰霊の日無料入館者数	
	3 月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況	
	4 市町村別団体入館者数	
	5 都道府県別団体入館者数	
IX	八重山平和祈念館	55
	1 概要	
	2 施設	
	3 事業概要	
	4 月別入館者数	
X	沖縄県平和祈念資料館友の会活動報告	62
	1 活動内容	
	2 申込方法	
	3 申込条件	
	4 平成28年度講話・ガイド活動実績件数	
	5 平成28年度活動内容	
X I	関係条例・規則・要綱	64
	1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	
	2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	
	3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	
X II	資料	72
	沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況	

はじめに

沖縄県平和祈念資料館は開館以来、沖縄戦の実相・教訓を後世へ正しく伝え、平和を大切にする「沖縄のこころ」を世界へ発信し、恒久平和の実現に寄与するために様々な取り組みを行っています。おかげさまで今年度には650万人の来館者を達成することができました。

常設展示室には、沖縄戦に至るまでの経緯及び実相と、戦後における住民の戦災復興、平和を希求する人々の足跡などを展示していますが、展示をより深く理解してもらうために県内小中学校・高等学校及び特別支援学校等の児童・生徒を対象に平和講話を提供しています。今年度は139回実施しており、資料館での平和講話が児童・生徒の平和学習には欠かせない存在になっています。

教育普及活動では、学校連携事業として位置づけている「児童・生徒の平和メッセージ展」が26回を数え、県内小中高等学校及び特別支援学校等の年中行事として定着しつつあります。今回は、「図画」「作文」「詩」の3部門で総数2,839点の作品応募があり、「詩」部門の小学校高学年の部最優秀作品「平和（ふいーわ）ぬ世界（しけー）どう大切（てーしち）」は、「沖縄全戦没者追悼式」において朗読され、その平和へのメッセージは多くの参加者に感動を与えました。

また、特別企画展「ウチナンチュが見た 満洲 ～『旧満洲国』・『偽満洲国』～」を開催しました。本企画は、戦前夢や希望を持って、満洲の地を踏み、逞しく生きたウチナンチュが、戦に巻き込まれ翻弄されていく様子を住民の視点で捉えた企画としました。故郷を離れたウチナンチュの目線で、国策として推し進められた移民としての生活の様子や、終戦後中国残留邦人となったウチナンチュの様子を通して、戦争の愚かさや平和の尊さを訴える内容となりました。

特別企画展と連携して開催した特別講座「回想 遙かなる大地 満洲」は、元中国残留孤児の方や満洲での生活経験者の方たちに体験をお話いただき、旧満洲の研究者に解説をいただくシンポジウム形式で開催し、多くの方が受講下さいました。残念なのは若い受講者が少なかったことですが、今後は大学等と連携して若い世代の受講を促していきたいと思います。

子ども・プロセス展示室では、沖縄戦、復帰、貧困、人権、紛争、国際理解等をテーマとし、子どもたちの視点にたった企画展を実施しました。常設展示では理解が難しい事柄についても、子どもが理解しやすいように説明していますが、当館は子どもたちだけでは来館が難しい立地のため、引率して下さる大人の方のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

八重山平和祈念館では、特別企画展及び児童・生徒の平和メッセージ展本館移動展のほか、夏休み企画や「収藏品展～収藏品から見る当時の暮らし～」展、「沖縄の戦時船舶と尖閣列島戦時遭難事件」展を開催しました。さらに、平和学習のための学校教員向け館の見学会も実施しました。

平成28年度の活動内容は以上でございますが、当館及び八重山平和祈念館を「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“場”として益々ご利用、ご活用いただくことを願っています。また、活動状況をまとめたこの冊子も広くご活用いただきたいと思います。

平成29年5月

沖縄県平和祈念資料館
館長 原田直美

I 概要

1 沿革

[沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972 (昭和47) 年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974 (昭和49) 年に鉄筋コンクリート2階建て (延床面積1,003㎡) の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975 (昭和50) 年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000 (平成12) 年3月31日に閉館。

[沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000 (平成12) 年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

[歴代館長]

外間盛治	2000 (平成12) 年4月	2002 (平成14) 年3月
阿波根昌安	2002 (平成14) 年4月	2003 (平成15) 年3月
島袋記美子	2003 (平成15) 年4月	2005 (平成17) 年3月
川満茂雄	2005 (平成17) 年4月	2007 (平成19) 年3月
宮城智子	2007 (平成19) 年4月	2009 (平成21) 年3月
大川芳子	2009 (平成21) 年4月	2011 (平成23) 年3月
呉屋禮子	2011 (平成23) 年4月	2013 (平成25) 年3月
上與那原美和子	2013 (平成25) 年4月	2014 (平成26) 年3月
國仲功	2014 (平成26) 年4月	2016 (平成28) 年3月
原田直美	2016 (平成28) 年4月	～

[主な事項]

1993 (平成5) 年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体 (商工美術(株) 株沖縄ノムラ) と締結する。
	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994 (平成6) 年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995 (平成7) 年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞team DREAMに決定
1996 (平成8) 年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 展示設計プロポーザル競技により (株) 乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 監修委員会開催
1997 (平成9) 年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称)・資料収集広報キャンペーンを開催 (巡回展、講演会)
1999 (平成11) 年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会 (最終) 開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館 (旧資料館) 閉館

2000(平成12)年度	4月1日	開館(一般公開始まる)
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催:広島市、長崎市 (~27日)
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催(~23日) アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001年(平成13)年	4月25日	入館者50万人達成
2002(平成14)年度	10月18日	入館者100万人達成
2003(平成15)年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始(~12月18日)平成18年度まで
2005(平成17)年度	4月7日	入館者200万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007(平成19)年度	6月21日	ミュージアムショップ開店(運営:沖縄県平和祈念財団)
	7月6日	入館者300万人達成
2008(平成20)年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
2009(平成21)年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業(~2012年3月)
	11月18日	入館者400万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備(英文表記追加)
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え(~3月31日)
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え(~3月19日)
2010(平成22)年度	4月1日	収蔵品等整理業務委託(~H24年3月31日)
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託(~H24年3月31日)
	7月28日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
	2月3日	入館者450万人達成
2011(平成23)年度	10月20日	人数カウンター設置工事開始(~10月30日)
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催
2012(平成24)年度	5月28日	入館者500万人達成
	7月13日	「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」(~H24年3月27日)
	12月1日	沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 (~2015年3月)
2013(平成25)年度	10月29日	入館者550万人達成
	2月12日	キャロライン・ケネディ駐日米国大使来館

2014（平成26）年度 2月7日 入館者600万人達成

2015（平成27）年度 10月10日 デービッド・イゲ ハワイ州知事来館
10月16日 「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業
JICA理事長賞受賞
3月1日 「沖縄のこころ」平和発信強化事業 多言語タブレット等運用開始

[主な企画展等、その他催し]

2000（平成12）年度 企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展

2001（平成13）年度 特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会（2回）

2002（平成14）年度 企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会

2003（平成15）年度 企画展「銃後を護れー戦時下のくらしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会

2004（平成16）年度 特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト

2005（平成17）年度 特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（3回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト

2006（平成18）年度 特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト

2007（平成19）年度 特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世(イクサ)の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座（2回）

2008（平成20）年度 特別企画展「カンポークエヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展

2009（平成21）年度 特別企画展「イクサユースワラビ～戦時下の教育と子どもたち～」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!!平和創造のうた」、新収蔵品展

2010（平成22）年度 特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」（20回）、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネルディスカッション」、「NANAマラソンの道』～走る道、逃げる道～」展、「子ども・未来・メッセージ展」（台湾・沖縄交流事業）

2011（平成23）年度 特別企画展『「アメリカ世（ユー）の沖縄」ー逞しくしたたかに生きてきたウチナンチューー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」

2012（平成24）年度 特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展

- 2013(平成25)年度 特別企画展『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展
- 2014(平成26)年度 特別企画展『南洋の群星が見た理想郷と戦』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会 沖縄戦講座「日系二世ウチナンチュが見た戦中・戦後」、「平成26年度子や孫につなぐ平和のウムイ事業成果」報告展、企画展「絵本原画展及びオーサーストーク」「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展、「カンボジア光と影Ⅲ」展
- 2015(平成27)年度 特別企画展『ウチナンチュが見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン』 児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回) 沖縄戦講座「東アジアの歴史と展望」、沖縄県平和祈念資料館講習会 企画展「戦時中の手紙・手記から見る家族の絆」展、企画展「新収蔵品展」 日本平和博物館会議「戦後70年共同展示」巡回展、 沖縄県博物館協会総会・春の研修会、全県高等学校生徒代表者会議

2 日誌(抄) 2016(平成28)年度

- 4月3日 平和講話等利用説明会(23校 56名)
- 4月8日 平和講話等利用説明会(10校 11名)
- 4月10日 大会議室プロジェクター機器入れ替え
特別企画展中国東北部調査(～18日)
- 4月14日 児童・生徒の平和メッセージ展入札説明会
一括ソフト交付金先行事例調査(南風原文化センター)
- 4月16日 平和祈念公園戦跡巡りー男子学徒隊の生と死をたどるー
- 4月20日 一括ソフト交付金先行事例調査(沖縄県公文書館)
- 4月21日 児童・生徒の平和メッセージ展入札
- 5月5日 こどもの日親子ビデオ上映会(68名)
- 5月12日 県立高等学校初任研修会 大会議室(115名)
- 5月20日 沖縄県地域史協議会総会・研修会参加 浦添市
- 5月26日 第1回子ども・プロセス企画展(～7月10日)
「沖縄の戦争孤児」開催 観覧者数 19,256名
- 5月27日 第1回平成28年度 沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催
- 6月3日 「マブニ・ピース・プロジェクト沖縄2016」展開催(～26日)
- 6月10日 児童・生徒の平和メッセージ展入賞者発表(本庁)
- 6月14日 米国務省東アジア太平洋局文化交流部
副次官補ウォルター・ダグラス氏視察
- 6月15日 来館者650万人達成
- 6月18日 第22回糸満市平和祈年祭 平和祈念朗読会 祈念ホール
- 6月19日 第10回千羽鶴仕分けプロジェクト 大会議室
- 6月22日 慰霊の日前夜祭のため、開館時間1時間延長
- 6月23日 第26回児童・生徒の平和メッセージ展開催(～7月7日)
開館時間1時間延長(入館者3,701名)
慰霊の日ビデオ上映会(270名)
- 6月29日 JICAレキオウイングス研修 大会議室(研修生10名)
参議院第一特別調査室職員視察(2名)
- 7月4日 内閣府政策統括官(沖縄政策担当)視察(他2名)
- 7月7日 内閣府政策官房審議官(沖縄政策担当)視察(他4名)
- 7月11日 常設展示室燻蒸作業 休館(～13日)
- 7月13日 児童・生徒の平和メッセージ展開催(八重山平和祈念館～23日)
- 7月21日 第2回子ども・プロセス企画展「チャレンジ!夏休み自由研究」

- (～8月31日) 観覧者数 10,622名
- 夏休み自由研究相談室【情報ライブラリー】(～8月31日)
- 7月23日 夏休み子ども教室 (18名)
- 8月1日 伊良波中学校教科別研修会【社会科】(6名)
- 8月2日 児童・生徒の平和メッセージ展開催(イオン名護店～9日)
- 8月8日 企画展示室「沖縄の戦争孤児」展開催(～8月31日)
- 幼稚園初任者研修 沖縄県立総合教育センター (52名)
- 聞く！見る！分かる！展示室探検【常設展示室】(10日、12日)
- 19・2・17名 計38名
- 夏休みアニメ上映会【祈念ホール】(8日、10日、12日)
- 37・31・9名 計77名
- 8月13日 親子で歩く、考える、平和ウォーキング【平和祈念公園内】18名
- 8月18日 学芸員実習開始 3名(～8月26日)
- 8月22日 児童・生徒の平和メッセージ展開催(県庁県民ホール～26日)
- 8月26日 資料館公募運営協議委員選定
- 8月27日 国土交通省大臣官房審議官(都市生活環境担当)視察(他6名)
- 8月30日 資料館公募運営協議委員面接
- 9月1日 児童・生徒の平和メッセージ展開催(宮古島市役所～9日)
- 9月1日 情報ライブラリー 嘱託員 平良綾乃新規採用
- 9月9日 島尻地区公立小中学校教頭会研修(37名参加)
- 9月12日 JICAカンボジア研修生表敬訪問・視察(2名)
- 9月13日 JICA事業『沖縄・カンボジア 博物館から発信する平和教育普及プロジェクト』「沖縄戦の概要」講義 研修生2名(～23日)
- 9月13日 「ウムイ事業」「ボランティア養成講座」調査 早稲田大学(6名)
- 9月21日 第3回 子ども・プロセス企画展「戦争と人々の暮らし」開催
(～11月30日) 観覧者数 22,289名
- 9月25日 タイ王国キング・プラジャーティポック研究所関係者視察(65名)
- 9月30日 台風18号接近の為、施設の台風対策を行う
- 10月3日 台風18号接近の為、12時00分より閉館
- 10月4日 第50回 新採用職員後期研修講話(自治研修所 96名)
- 10月7日 第17回特別企画展
「ウチナーンチュが見た満洲 ～旧満洲国・偽満洲国」開催
(～12月11日) 21,578名
- 10月9日 UNICEF 日本事務所代表視察(他4名)
- 10月17日 福井県副知事視察(他2名)
- 10月18日 第51回 新採用職員後期研修講話(自治研修所 97名参加)
- 10月27日 沖縄博物館協会 秋の研修会参加 うるま市石川
- 10月30日 沖縄北方担当大臣視察
- 10月31日 職場体験学習 糸満中学校2年 4名(～11月2日)
- 11月5日 特別講座 シンポジウム「回想 遙かなる大地 満洲」登壇者4名
(パネリスト 名城氏、阿波根氏、伊波氏、根間氏)(125名参加)
- 11月9日 長崎市議会 教育普及事業調査及び視察(3名)
インターンシップ豊見城高等学校 3名 糸満高等学校 3名
(～11月11日)
- 11月10日 第22回日本平和博物館会議 立命館大学国際平和ミュージアム
(～11月11日)
- 11月12日 特別企画展事前調査① 大阪府(～13日)
- 11月14日 内閣府副大臣視察
- 11月15日 インターンシップ小禄高等学校 2名(～17日)
- 11月16日 インターンシップ豊見城南高等学校 2名(～18日)
済州島4.3平和財団表敬訪問及び視察(16名)
- 11月18日 広島市議会 展示活動事業及び教育普及事業調査(11名)
- 11月21日 「勇気の証言ーホロコースト展 アンネ・フランクと杉浦千畝の
選択」展関係者表敬訪問及び視察

- 11月23日 JICAレキオウイングス研修 大会議室（研修生7名）
- 11月25日 沖縄県地域史協議会 第2回研修会参加 名護市屋我地
- 12月 3日 フィリピン日系人リーガルサポートセンター、フィリピン政府
関係者表敬訪問及び視察（13名）
- 12月 8日 広島平和記念資料館副館長表敬訪問・原爆展打ち合わせ（2名）
- 12月 9日 第4回子ども・プロセス企画展「沖縄の米軍基地と人権」開催
（～2月26日）14,308名
- 12月14日 インターンシップ向陽高等学校 3名（～12月16日）
- 12月15日 ベトナム戦争証跡博物館館長表敬訪問及び視察（3名）
- 12月20日 協賛事業 沖縄・ベトナム「子どもたちがみた戦争と平和」展
（県立博物館・美術館 県民ギャラリーにて ～12月25日）
- 1月21日 特別企画展八重山移動展（～2月23日）
- 2月 4日 雪だるま親善大使視察（小学生2名、引率保護者2名、随行6名）
- 2月 6日 大阪府議会教育普及事業調査（7名）
- 2月 8日 資料館講習会（18名参加）
- 2月 9日 類似館調査調査及び特別企画展のための調査研究①
（東京都・群馬県 ～2月12日）
・群馬県立土屋文明記念文学館 ・法政大学沖縄文化研究所
・本法寺
- 2月14日 茨城県結城市議会表敬訪問・平和教育調査（3名）
- 2月15日 児童・生徒の平和メッセージ展開催ハワイ歩兵第100大隊ベテランズ
クラブ・ビジター・センター（～28日）
- 2月21日 クロアチア大使夫妻視察
- 3月 7日 類似館調査及び特別企画展のための調査研究② 大阪（～11日）
・大阪府立上方演芸資料館 ・大阪市立中央図書館 ・証言集録
・大阪市立大正区図書館 ・大阪人権博物館 ・大阪沖縄会館
- 3月 9日 消防防災訓練
- 3月13日 インディアナ大学ジャーナリズム専攻学生 沖縄戦取材（12名）
- 3月16日 第5回子ども・プロセス企画展「国際理解を深めよう」開催
（～5月15日）
- 3月27日 知覧特攻平和会館館長 視察・調査（3名）
正面玄関女子トイレにおむつ交換台を設置（1台）



沖縄県平和祈念資料館外観

3 施 設

(1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

(2) 建設概要

ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808平方メートル

延床面積 10,179平方メートル

ウ 総事業費 約7,291百万円(県債6,510、施設整備基金139、一般642)

工事費 4,900百万円

設計費 155 〃

展示工事費 1,535 〃

展示設計費 126 〃

情報システム 171 〃

その他 404 〃

エ 主な施設

常設展示室(1～5室) 1,360平方メートル

企画展示室 255 〃

子ども・プロセス展示室 518 〃

情報ライブラリー 472 〃

平和祈念ホール 245 〃

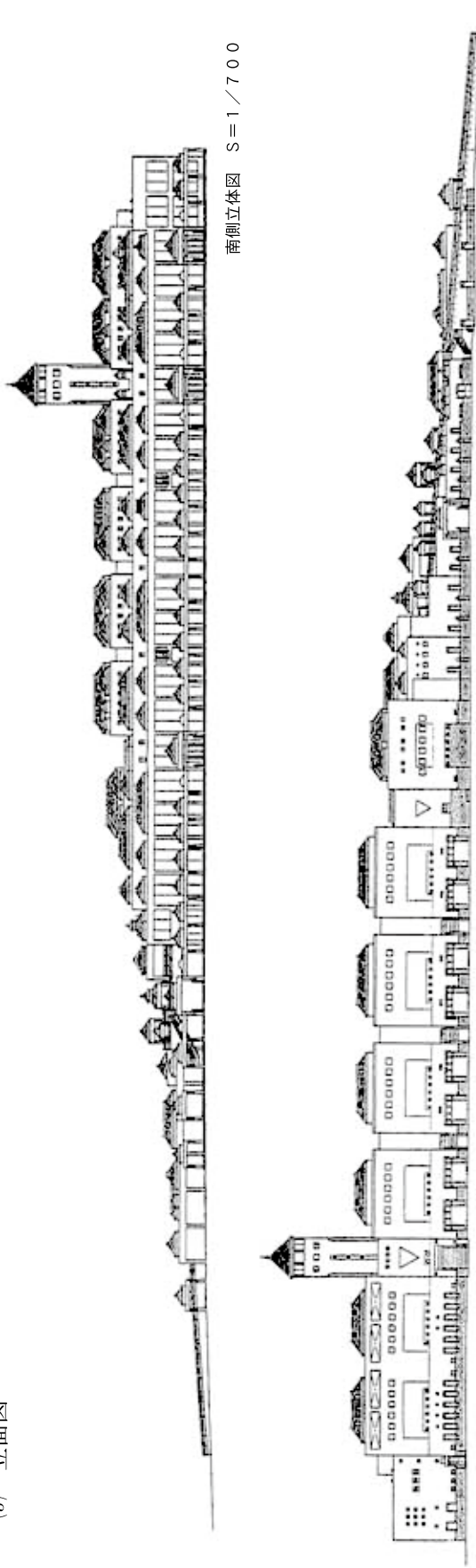
海と礎の回廊 256 〃

会議室 200 〃

一般収蔵庫 1,201(1F、2F) 〃

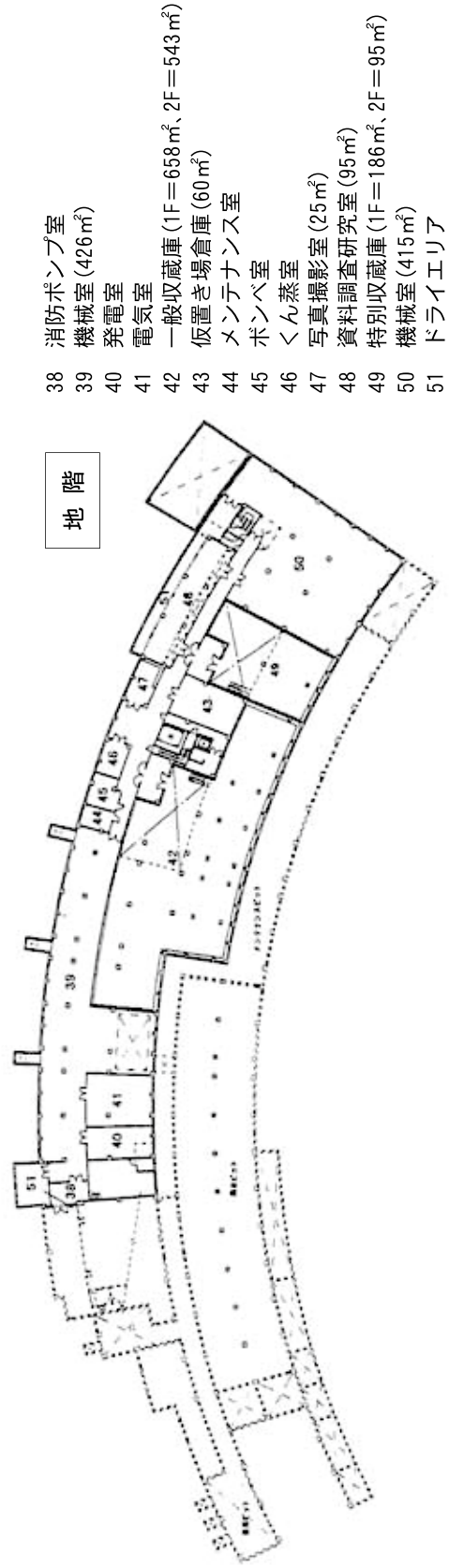
特別収蔵庫 281(1F、2F) 〃

(3) 立面図

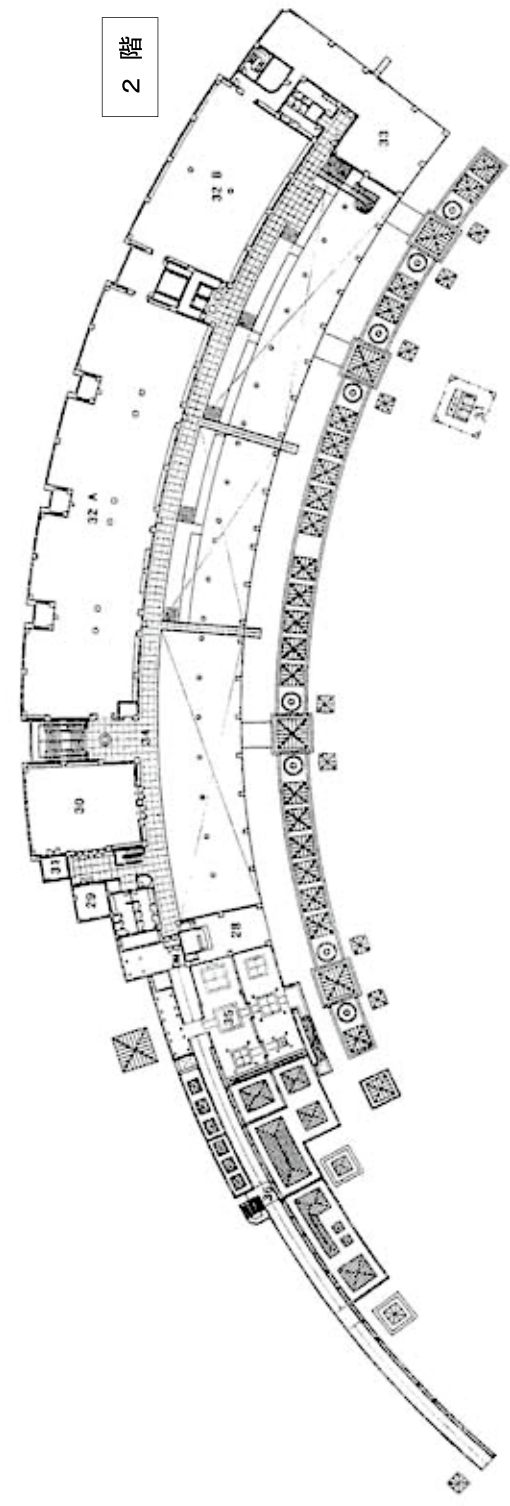
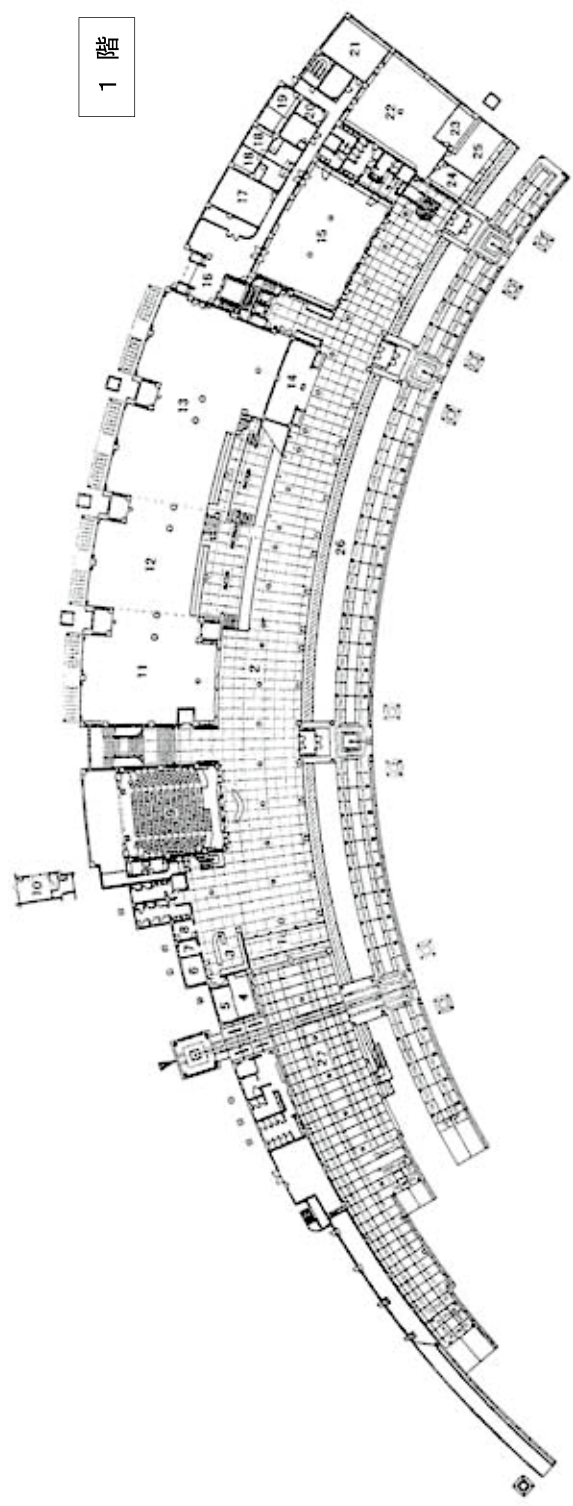


北側立面図 S=1/700

(4) 平面図

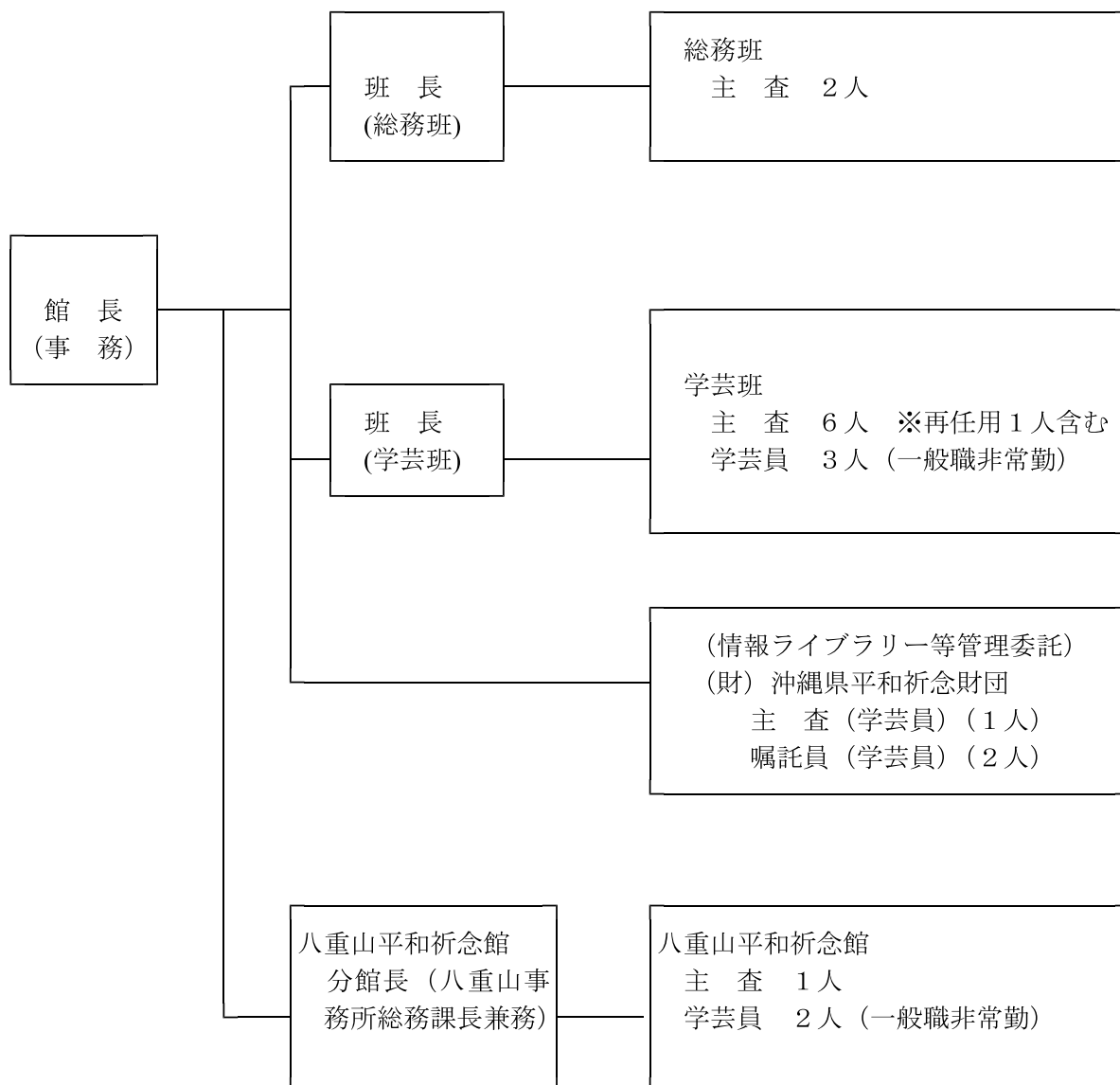


- 1 エントランス
 - 2 ホール(1510㎡)
 - 3 ミュージアムショップ(28㎡)
 - 4 事務室
 - 5 ボランティア添乗員室
 - 6 授乳・救護室
 - 7 TELルーム
 - 8 ロッカー・自販機室
 - 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
 - 10 楽屋・調整室
 - 11 子供展示室(285㎡)
 - 12 プロセス展示室(233㎡)
 - 13 情報ライブラリー(472㎡)
 - 14 アルコーブ
 - 15 企画展示室(255㎡)
 - 16 荷解き室(49㎡)
 - 17 情報処理室
 - 18 職員休憩室
 - 19 守衛室
 - 20 給湯室
 - 21 事務会議室(52㎡)
 - 22 事務学芸員室(158㎡)
 - 23 小会議室
 - 24 館長室
 - 25 応接室
 - 26 中庭
 - 27 ピロティー
- 1階 s=1/700
- 28 喫茶室(86㎡)
 - 29 事務室
 - 30 会議研修室(200㎡・100席)
 - 31 調整室
 - 32A 常設展示室 1～4 (957㎡)
 - 32B 常設展示室 5 (403㎡)
 - 33 海と礎の回廊(256㎡)
 - 34 ギャラリー(373㎡)
 - 35 テラス
 - 36 外部スロープ
 - 37 展望室
- 2階 s=1/700



4 組織

(1) 機構（平成28年4月1日現在）



*その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付 (3人)、警備 (2人)、清掃 (2人)、機械設備管理 (1人)、

(2) 職員構成（平成28年4月1日現在）

職名	氏名	担当業務
館長	原田 直美	資料館業務の総理に関すること

総務

班長	真志喜 健 (出納員)	管理運営に係る将来計画の策定に関する事項 予算、決算、監査の総括に関する事項 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募・会議開催の庶務的事項） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 その他庶務会計に関する事項
主査	仲村渠 ゆかり	給与の支払、諸手当の認定、任用等服務に関する事項 文書の收受、保管に関する事項 出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項 需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項 旅費、報酬、謝金に関する事項 決算に関する事項 公用車の管理に関する事項 消耗品、切手等の受払に関する事項 雑入に関する事項 共済事務に関する事項 その他庶務会計に関する事項
主査	棚原 盛健	出納事務に関する事項（日計表の確認含む） 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 団体入館予約、入館者の日報月報等統計業務に関する事項 歳入事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む） 委託料に関する事項 修繕料に関する事項 音声ガイド等音響機器の管理に関する事項 機器のリースに関する事項 備品の執行管理に関する事項 公有財産に関する事項 その他庶務・会計に関する事項

学芸班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
班長 (総括)	新垣 誠	学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項 (主) 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 (主) 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 (主) 運営協議会に関する事項 (委員の選任、運営及び議題) (主) 予算・決算・議会の資料作成に関する事項 (主) 管理運営の将来計画策定に関する事項 (学芸的事項) (主) 要人・議員団・その他研修等案内及び割り振り (主) 公的研修に関する事項 (主) 消防防災に関する事項 (副) 沖縄県資料保存利用機関連絡会議 (副) 「戦世の記憶」平和発信強化事業 (副) 平和講話に関する事項 (共)
主査	福里 竜也	「戦世の記憶」平和発信強化事業 (主) 沖縄戦講座 (シンポジウム) に関する事項 (主) (年度途中) 提案展示会等への対応に関する事項 (主) 国際協力調整に関する事項 (韓国学生受け入れ・平和人権施設及び財団会議韓国留学生) (主) 常設展示室 (第1室) の管理運営に関する事項 (主) 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 (共) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査	古謝 将史	児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項 (主) 収蔵資料の管理に関する事項 (主) 質問照会の回答担当に関する事項 (主) 広報に関する業務 (HP掲載、デジタルサイネージ関連) (主) 常設展示 (子どもプラザ展示室) の管理運営に関する事項 (主) 情報ライブラリー活性化など活用促進に関する事項 (主) JICA、国外関係機関等との連携に関する事項 (主) 「戦世の記憶」平和発信強化事業 (副) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査	宮里 満男	特別企画展の企画・立案に関する事項 (主) 資料館講習会の企画等に関する事項 (主) 情報化推進に関する事項 (主) 常設展示室 (第2・第3室) の管理運営に関する事項 (主) 日本平和博物館会議に関する事項 (副) 「戦世の記憶」平和発信強化事業 (共) 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 (共) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)

主 査	渡邊 尚子	県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主） 展示物等の撮影許可・著作権申請等に関する事項（主） 類似館・次年度特別企画展調査に関する事項（主） 日本平和博物館会議に関する事項（主） 友の会活動の支援・推進に関する事項（主） 学校団体等の利用促進に関する事項（主） 沖縄県地域史協議会に関する事項（主） 常設展示室（第5及び屋外）の管理運営に関する事項（主） 特別企画展の企画・立案に関する事項（副） 資料館講習会（副） 英語に関する業務（副） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主 査	新垣 成美	証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主） 寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（主） 夏休み親子平和学習に関する事項（主） キャリア教育に関する事項（主） 千羽鶴未来プロジェクト及び千羽鶴の受理に関する事項（主） 沖縄県博物館協会に関する事項（主） 沖縄県資料保存利用機関連絡会議（主） 英語に関する業務（主） 常設展示（第4室）の管理に関する事項（主） 児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（副） 収蔵資料の管理に関する事項（副） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主 査 (短時間勤務)	呉屋 禮子	「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主） 『年報』の発行に関する事項（主） 常設展示室・収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項（主） アニメ及び上映会に関する事項（こどもの日・慰霊の日）（主） 観覧者アンケート統計、分析、月ごとの総括に関する事項（主） 広報に関する業務（副） その他学芸業務に関する事項（共）
非 常 勤 (学芸員)	渡名喜 琴音 鈴木 友美 照本 史緒里	資料・収蔵品の整理・展示等学芸業務の補助に関する事項 資料等の送付に関する事項 観覧者アンケート等入力に関する事項 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 HPの作成に関する事項 館内事業案内掲示など広報等に関する事項 その他上司の命に関する事項

委 託

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平田 守	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の企画等に関する事項 沖縄戦の調査研究に関する事項 修学旅行・平和教育の講師、説明に関する事項
嘱 託 員 (学芸員)	仲村 美奈子 吉江 史扇	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項

八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	名城 政広	分館の事務を処理し、所属職員を指揮管理すること。
主 査	川上 剛司	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 観覧料の収納及び銀行入金等業務、日報月報の記録（主） 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 ホームページの管理に関する事項（主） 団体入館者予約、館内案内（展示物及び資料の説明）業務（主） 来館者の対応、来館者アンケートの整理・対応（主） 企画展に関する業務（主） 運営協議会・八重山部会に関する業務（主） 展示物及び資料収集、保存及び管理に関する業務（主） 平和学習担当教員向け説明会の開催業務（主） 館の運営に関する総括業務及びその他指示された業務
非 常 勤	宮良 晴美	観覧料の収納及び銀行入金等業務、日報月報等の記録（副） 団体入館者予約、館内案内（展示物及び資料の説明）業務（副） 来館者の対応業務（副） 本館主催企画展の移動展に関する業務（副） 企画展に関する業務（副） 運営協議会・八重山部会への対応（副） 展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する業務（副） 平和学習担当教員向け説明会開催業務（副） 展示物及び資料の説明に関する事項（副） ホームページの管理に関する業務（副） その他の雑務及び職員の補助

(3) 人事異動（平成28年4月1日現在）

沖縄県平和祈念資料館

異動	職名	氏名	摘要
転入	館長 主査 主査 主査 非常勤	原田 直美 新垣 成美 渡邊 尚子 仲村渠 ゆかり 照本 史緒里	消費生活センターから 県立南風原高等学校から 県立中部農林高等学校から 農業研究センターから 採用
転出	館長 主査 主査 主査 嘱託	國仲 功 真栄平 房佳 平良 博志 徳嶺 かおり 大城 健資	定年退職 県立知念高等学校へ 県立具志川商業高等学校へ 水産海洋技術センターへ 退職

八重山平和祈念館（分館）

異動	職名	氏名	摘要
転入	非常勤	久高百合子	採用（5月23日付け）
転出	嘱託	眞榮田 理那	退職

5 平成28年度 歳入歳出決算（本館及び分館）

歳 入

単位：円

	常設展示室	ホール、会議室等使用料	ミュージアムショップ等	「戦世の記憶」平和発信強化事業（沖縄振興特別推進交付金）	寄附金	不用品売払代	合計
資料館 観覧料	53,822,410	0	0	0	0	0	53,822,410
本館	53,627,840						53,627,840
分館	194,570						194,570
資料館 使用料	0	1,080,580	0	0	0	0	1,080,580
本館		1,075,580					1,075,580
分館		5,000					5,000
建物 使用料	0	0	233,399	0	0	0	233,399
本館			233,399				233,399
分館							0
建物貸付料（本館）			378,216				378,216
寄附金							0
雑入（本館）			215,217				215,217
戦世の記憶平和発信強化事業（本館）				22,033,190			22,033,190
不用品売払代（本館）						0	0
合 計	53,822,410	1,080,580	826,832	22,033,190	0	0	77,763,012
本館	53,627,840	1,075,580	826,832	22,033,190	0	0	77,563,442
分館	194,570	5,000	0	0	0	0	199,570

歳 出

単位：円

科 目	管理運営 事	展 示 活 動 事 業	戦世の記憶平和 発信強化事業			合 計
報 酬	74,400	8,471,680	0			8,546,080
本館	74,400	5,580,000				5,654,400
分館		2,891,680				2,891,680
共 済 費						0
賃 金						0
報 償 費	32,882					32,882
旅 費	337,195	2,150,901	76,440			2,564,536
本館	271,115	2,112,401	76,440			2,459,956
分館	66,080	38,500				104,580
需 用 費	28,842,045	849,508				29,691,553
本館	27,459,904	830,508				28,290,412
分館	1,382,141	19,000				1,401,141
役 務 費	1,923,576	206,000	0			2,129,576
本館	1,829,488	206,000				2,035,488
分館	94,088	0				94,088
委 託 料	51,916,334	18,025,660	27,465,048			97,407,042
本館	50,644,310	18,025,660	27,465,048			96,135,018
分館	1,272,024	0				1,272,024
使用料及び賃借料	8,311,969	36,917	0			8,348,886
本館	6,449,377	36,917				6,486,294
分館	1,862,592	0				1,862,592
工事請負費						0
備品購入費	1,460,300					1,460,300
負担金補助及び交付金	10,000					10,000
公 課 費	0					0
合 計	92,908,701	29,740,666	27,541,488			150,190,855
本館	88,231,776	26,791,486	27,541,488			142,564,750
分館	4,676,925	2,949,180	0			7,626,105

6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員及び八重山平和祈念館部会委員名簿

(任期：平成26年9月16日～平成28年9月15日)

区 分	役職名	氏 名	現 職 名
学識経験者	会 長	安 田 國 重	平和祈念資料館友の会会長
	副会長	石 堂 徳 一	石垣市文化協会事務局長
	委 員	大 城 将 保	新沖縄県史編集委員
	委 員	鳥 山 淳	沖縄国際大学総合文化学部教授
	委 員	平 良 次 子	南風原文化センター学芸班長
	委 員	古 賀 徳 子	ひめゆり平和祈念資料館学芸課長代理
	委 員	青 山 恵 昭	美術家
	委 員	松 田 隆 仁	広報アドバイザー
	委 員	宮 城 明	画家、サン21プロジェクト代表
	委 員	安 里 進	沖縄県立博物館・美術館館長
	委 員	豊 見 山 和 行	琉球大学法文学部教授
教育関係者	委 員	比 知 屋 綾 子	沖縄県青少年育成アドバイザー
公 募	委 員	榎 本 拓 也	有限会社がじまる代表

(2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職 名	氏 名	現 職 名
学識関係者	部会長	石 堂 徳 一	石垣市文化協会事務局長
	委 員	青 山 恵 昭	美術家
	委 員	松 田 隆 仁	広報アドバイザー

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

■平成28年度第1回運営協議会

日時：平成28年5月27日（金）13:30～15:30 場所：平和祈念資料館 2階喫茶室

内容：(1)議題

平和祈念資料館の管理運営について

II 調査研究事業

1 特別企画展のための調査研究

[目的]

平成28年度第17回特別企画展「ウチナンチュが見た満洲 ～『旧満洲国』・『偽満洲国』～」の充実を図るために調査研究を行う。

[調査方法]

(1) 現地調査

中国東北部地方（大連市・長春市・齊齊哈爾市）4月10日～18日（8泊9日）

(2) 県内外資料館、博物館等の関連収蔵品調査（類似館調査によって収集した資料も含む）

(3) 旧満洲国帰国者及び家族からの聞き取り調査（沖縄満洲会・元中国在留邦人・他）

(4) 当館収蔵品（具体物資料、証言等）の関連資料調査



現在も残る大連駅舎

[内容]

旧満洲国へ移住した沖縄出身者や家族を中心に戦前・戦中・戦後についての調査研究を行う。日露戦争を起点とし、元中国在留邦人の戦後の生活までを調査対象とする。

(1) 旧満洲国に大きな影響を与えた「南満洲鉄道株式会社」について

(2) 旧満洲国建国に至る社会背景と経過について

(3) 国策としての満蒙開拓移民について

① 沖縄県の旧満洲国移民政策の取り組み情況について

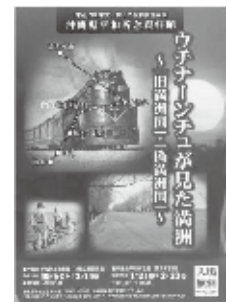
② 旧満洲国移民政策に影響された沖縄県立農林学校や那覇商業学校について

(4) 一般開拓団員及び満蒙青少年義勇軍、都市部への移民者について

(4) 旧満洲国から沖縄への兵士の移動について

(5) 元中国在留邦人について

(6) 旧満洲引揚者及び関係者によって組織された「沖縄満洲会」の活動について



周知用ポスター

[調査資料館等]

(1) 中国東北部（旧満洲地域）

大連賓館資料室（大連市） 大連満鉄址陳列館（大連市） 偽満皇宮博物院（長春市）

(2) 県外

一般社団法人満蒙開拓記念館（長野県）、平和祈念展示資料館（東京都）、昭和館（東京）、しょうけい館（東京）、東京国立近代美術フィルムセンター（東京）、国立国会図書館（東京）、舞鶴市引揚記念館（京都）、福岡市市民プラザ（福岡県）

(3) 県内

池宮商会資料室、那覇市歴史博物館、南風原文化センター、沖縄県立図書館、琉球大学附属図書館、沖縄県立公文書館、沖縄県行政情報センター、一般社団法人北部農林高等学校後援会、糸満市教育委員会、北谷町教育委員会

[調査文献]

「沖縄と『満洲』 『満洲一般開拓団』の記憶」 「沖縄それぞれの満洲 語り尽くせぬ記憶」

「満洲開拓歴史」 「20世紀満洲歴史事典」 「引揚港舞鶴の記憶」 「満蒙開拓記念館」

「移民・出稼ぎ関係新聞記事集成 アジア・太平洋地域」 「与那原町史 資料編1 移民」

「浦添市移民史 証言・資料編」 「沖縄県史7 移民」 「北谷町史 附巻移民出稼ぎ編」 他

2 類似館および次年度特別展にかかる資料調査

- (1) 期間 平成29年2月9日(木)～12日(日)、3月7日(火)～11日(土)
- (2) 日程 〈東京都〉 松竹大谷図書館、本法寺
〈群馬県〉 群馬県立土屋文明記念文学館
〈大阪府〉 大阪府立上方演芸資料館(ワッハ上方)、大阪人権博物館
次年度特別展にかかる聞き取りおよび証言聞き取り調査
- (3) 参加者 主査 渡邊尚子、非常勤 鈴木友美(3月のみ)

(4) 内容

①公益財団法人 松竹大谷図書館

公益財団法人 松竹大谷図書館は、昭和31年に設立された演劇と映画の専門図書館である。長年にわたり演劇や映画事業に携わってきた松竹株式会社が収集した資料を、広く一般にも公開している。「GHQ 検閲台本」や戦時中の「検閲済み台本」なども所蔵しており、今回それらを閲覧することができた。

また、「戦役演劇人」についてもご教示いただき、本土における戦時中の演劇界が国策に取り込まれていく過程について参考になる資料などを紹介してもらった。

②法政大学沖縄文化研究所

法政大学沖縄文化研究所は昭和47年に設立され、琉球弧の文化をその周辺地域の中に位置づけ、歴史学、言語学、民俗学、文学、平和学、考古学など諸分野から総合的に研究し、現代では本土における沖縄研究の拠点として、国内外の研究者を結ぶネットワーク的な役割も果たしている。

③群馬県立土屋文明記念文学館

群馬県立土屋文明記念文学館は平成8年に開館した県立の文学館である。今回、「第95回企画展 方言の豊穡、文学の実感」というテーマで開館20周年記念特別展を開催するにあたり、沖縄県平和祈念資料館へ「方言札」の写真借用の依頼があった。これをきっかけに戦前沖縄でみられた方言弾圧と類似した事例が本土にもあったのかご教示いただくことになった。

明治以降、近代国家として出発した日本は、全国で共通する言語を制定し、国民全体がそれを使用することを理想とした。軍事的強化を進めていた当時において、軍内部で共通の言語を用いて意思の疎通をはかることは絶対であり、またそれを実現させるためには学校現場などの教育界との連携が必須であった。明治35年に文部省に国語調査委員会が設置され、現在でいうところの学習指導要領に方言の矯正が示され、「方言は価値が低いもの」という意識が国民に植え付けられた。東北地方においても方言矯正、標準語励行運動がおこり、各学校で共通語使用の講話が行われたり、沖縄の方言札にあたる「方言票」が用いられ、違反者には罰則が与えられるなどしていたようである。特に沖縄の「ソテツ地獄」の時期に当たる頃は東北においても大規模な飢饉がおこり、大変苦しい中で若者の多くが軍へ志願していった状況があり、方言矯正運動に拍車がかかったようだ。

④本法寺

本法寺は1591年に創建された日蓮宗の寺院である。1937年11月に内務省警保局長より「興行取締ニ関スル件」がだされ、戦時下の自局にふさわしくないとして53演目の落語(のちには芝居も)の上演が自粛され、本法寺の「はなし塚」に台本が納められている。



群馬県立土屋文明記念文学館



本法寺の「はなし塚」

⑤大阪府立上方演芸資料館（ワッハ上方）

関西を中心に日本国内の演芸資料および写真、映像など多くの貴重な資料を所蔵。沖縄芝居関係資料のほか、大宜見小太郎の芝居に多大な影響を与えたといわれる曾我廼家五郎関係資料を閲覧。また、戦前、牛島満と東條英機関わった演劇慰問団関係資料を閲覧することができた。



⑥大阪人権博物館「リバティおおさか」

人権や差別問題を扱った日本で最初の人権博物館。被差別部落の問題や性的少数者、ハンセン病患者や女性に対する差別など多岐にわたって資料展示している。「アイヌ」、「在日コリアン」と並んで「沖縄」のコーナーも設けられており、戦前から戦後にかけての沖縄の歴史や、現代の基地問題まで広く沖縄の実情を展示している。また、大阪に住むウチナンチュについても詳しく紹介している。多くの学校が見学を訪れ学習していた。



⑦次年度特別展にかかる聞き取りおよび証言聞き取り調査

沖縄にルーツをもつ在阪ウチナンチュのようすについて聞き取り調査をおこなった。目的は、戦前から戦後にかけて大阪で公演されていた沖縄芝居の証言を収集することであったが、あわせて本土に渡ってきたウチナンチュの大阪での暮らしぶりについてもお話をうかがった。

沖縄県人会の協力を得て、主に大阪市大正区にある大阪沖縄会館において調査を実施し、8名の方々の証言が得られた。故郷を離れ、貧困や戦争、差別など様々な苦しい体験をウチナンチュどうし、助け合いながら乗り越えてきた話はたいへん心を打つものがあった。これら貴重な証言は、次年度特別展において紹介していきたい。



大阪沖縄会館（大阪市大正区）

3 第23回平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え、平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究を行うことにより、相互の連携を図りつつ、平和推進事業の一層の発展を期することを目的とする。

(1) 期 間 平成28年11月10日(木)～11月11日(金)

(2) 開催場所 立命館大学国際平和ミュージアム(京都市)

(3) 参加博物館

- ① 埼玉県平和資料館
- ② 川崎市平和館
- ③ (財)大阪国際平和センター ピースおおさか
- ④ 広島平和記念資料館
- ⑤ 長崎原爆資料館
- ⑥ 沖縄県平和祈念資料館
- ⑦ 神奈川県立地球市民かながわプラザ
- ⑧ ひめゆり平和祈念資料館
- ⑨ 立命館大学国際平和ミュージアム



会議のようす

(4) 日 程

11月10日(木)

① 記念講演(立命館大学国際平和ミュージアム2階会議室)

講演「世界の平和博物館の実情と課題」 講師 立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長 安齋育郎

② 会 議

協議題1 「当該加盟館のコンソーシアムの充実化を図るための展示室や併設の図書館、資料コーナーへの平和情報コーナーを設置」

協議題2 「ダークツーリズムについて」

協議題3 「リニューアルについて」

協議題4 「戦後71年、平和博物館が抱えている課題について」

協議題5 「普及活動におけるアウトリーチの取り組み ―学校との連携に関わって―」

③ 立命館大学国際平和ミュージアム常設展示・秋期特別展 視察

11月11日(金)

① 研修会 講演「博物館体験の長期記憶を探る ―来館者調査の意義と課題―」

講師 北海道大学総合博物館 湯浅万紀子

② 龍谷ミュージアム 視察(龍谷大学・京都市下京区堀川通正面下る)



研修会のようす



龍谷ミュージアム

Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦―鉄の暴風―」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦―地獄の戦場―」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ(自然の鍾乳洞)とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦―証言―」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定と

なっている。

〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校の様子、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

「わらびな一(庭)」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための情報ライブラリーが設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

(2) 展示資料等の充実

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器(LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー)とコントローラー、映像ディスク(LDディスクからDVDディスクへ)を刷新した。
- ②常設展示室2Fの第1室と第5室の年表パネルを刷新した。
- ③常設展示室第1室、第2室の展示ケース照明のLED化。企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成22年度)
- ④常設展示室、子どもプロセス展示室、情報ライブラリー、大会議室、事務室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成26年度)
- ⑤常設展示室2Fの第2室の大型スクリーンを刷新した。(平成27年度)
- ⑥タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語)を進めた。(平成27年度)
常設展示室音声ガイダンス機器50台を新規導入。音声データをフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語、英語、中国語、韓国語、スペイン語に翻訳。(平成27年度)
- ⑦デジタルサイネージシステムの導入。(平成27年度)

2 企画展

(1) 第17回特別企画展

「ウチナンチュが見た満洲 ～『旧満洲国』・『偽満洲国』～」

① 開催場所・開催期間

沖縄県平和祈念資料館 企画展示室：平成28年10月7日（金）～12月11日（日）
八重山平和祈念館 第2展示室：平成29年1月21日（土）～2月23日（木）

② 趣旨

特別企画展では、平成25年度より戦前から戦後にかけて外国の地で暮らす沖縄県出身者の戦争体験を紹介してきた。平成25年度はハワイ、平成26年度は南洋群島、平成27年度は台湾・フィリピンを特別企画展として扱う地域とした。そして、平成28年度は旧満洲を取り上げ企画展を開催した。本企画展では、「偽満洲国」という馴染みの薄い表記も併用している。この表記は、中国での一般的な表記である。いずれの表記が適切かという観点ではなく、国の立場によって表記が異なることをふまえ、「多様性」という観点から企画展を観ていただきたいという意図があった。

旧満洲には、「旧満洲国」建国以前から沖縄県出身者を含め多くの日本人が南満洲鉄道株式会社をはじめとする企業に勤めていた。そして、1938（昭和13）年から、沖縄県でも国策として、旧満洲への一般開拓団員募集が開始された。また、満蒙開拓青少年義勇軍として、旧満洲へ渡った人々もいた。その数、約3000名。この数には、都市部へ就職した人々の数は含まれておらず、国策移民のみの数であり、旧満洲都市部へ就職した人々の数も含めると、それ以上となる。いずれの立場で旧満洲へ渡ったにせよ、敗戦後の混乱の中、多くの人々が帰国を果たせずに命を落とした。また、日本への引き揚げの機会を逸し、1972年の日中国交正常化まで旧満洲での生活を余儀なくされた者も数多くいた。彼らは「中国在留邦人」、「中国残留孤児」と呼ばれ、沖縄県出身も含まれた。

「偽満洲国」と「旧満洲国」という表記があることをふまえ、旧満洲で戦争を体験した人々の苦労について広く伝えることで平和を希求する行動へ波及することを望み、企画展を開催した。

③ 展示の構成

第Ⅰ章 雄飛を夢見た大地 旧満洲
旧満洲の歩み
「旧満洲国」の概要
南満洲鉄道株式会社

第Ⅲ章 戦に翻弄された沖縄
満蒙開拓青少年義勇軍
「旧満洲国」で兵役についた
ウチナンチュ

関東軍
戦時遭難船
中国残留邦人

第Ⅱ章 ウチナンチュの足跡
「旧満洲国」のウチナンチュ
「旧満洲国」への送出者数
沖縄県から満洲へ
満洲移民を支える沖縄県立農林学校
一般開拓団
自由移民

④ 観覧者数（21,578人）



来館者



マスコミ取材



ポスター

(2) 子ども・プロセス企画展

第1回「沖縄の戦争孤児」

沖縄戦では、多くの子どもたちが犠牲になり、生き残った子どもも体や心に大きな傷を負った。親を戦争で亡くし、戦争孤児として苦しみに耐えていかなければならなかった子どもが大勢いたことを展示した。

[期間] 平成28年5月26日(木)～7月10日(日)

[内容]

- ①戦時下の子どもたち
- ②沖縄戦の中の子どもたち
- ③沖縄戦と戦争孤児
- ④引揚孤児・残留孤児
- ⑤「戦争孤児」の証言

[観覧者数] 19,256名



第2回「チャレンジ！ 夏休み自由研究 -沖縄戦について調べてみよう-」

夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行った。

[期間] 平成28年7月21日(木)～8月31日(水)

[内容]

- ①自由研究の進め方やテーマ選びのヒント
- ②研究テーマの紹介・解説
 - ・沖縄戦の概要
 - ・住民の避難生活
 - ・住民の戦場動員
 - ・沖縄戦の被害
 - ・戦争孤児
 - ・不発弾
 - ・平和の礎
- ③自由研究のまとめ方(研究ノートや新聞)を紹介

[観覧者数] 10,622名



第3回「戦争と人々の暮らし」

戦争によって国民の生活がどのように変化したのかを様々な面から展示する。戦争がもたらす被害や人権の抑圧などについて学び、平和の尊さについて考える機会とした。

[期間] 平成28年9月21日(水)～11月30日(水)

[内容]

- ①中国との戦争が始まる
- ②アジア・太平洋に広がる戦争
- ③戦争と人々の暮らし
- ④子どもたちと戦争
- ⑤おそいかかる空襲
- ⑥沖縄・広島・長崎、そして敗戦
- ⑦平和で豊かな暮らしをみざして



[観覧者数] 22,289 名

第4回「沖縄の米軍基地と人権 ーくり返される事件・事故ー」

沖縄戦以降、米軍基地に関係する事件・事故がくり返し発生し、70年以上も県民は苦しみと不安に耐えている。沖縄県の重すぎる基地負担の現状について紹介するとともに、お互いの人権を尊重し合い平等な社会の実現について考える機会とした。

[期間] 平成28年12月9日(金)～平成29年2月26日(日)

[内容]

①米軍基地と人権

- ・「人権」ってなんだろう? ・米軍基地と基本的人権
- ・墜落の恐怖と爆音の痛み(宮森小学校墜落事件など)

②沖縄の米軍基地

- ・沖縄の米軍基地の概要 ・県内全ての米軍基地の紹介

③くり返される事件・事故

- ・事件・事故年表(1945年～2016年)

④平和な沖縄をめざして

- ・基地の整理・縮小をもとめて

[観覧者数] 14,308 名



第5回「国際理解を深めよう ー争いをなくし明るい未来を築くためにー」

環境問題やエネルギー問題、人口問題など様々な問題が、人類にとって共通の深刻な課題となっている。国際社会がその解決のためにどのように行動しているのか、また、私たち一人ひとりに何ができるのかについて展示した。

[期間] 平成29年3月16日(木)～5月15日(月)

[内容]

①世界の人びとと戦争・紛争

②考えてみよう!

- ・宗教や民族のこと ・エネルギーのこと
- ・環境のこと ・食糧のこと
- ・人口のこと ・貧困のこと

③様々な取り組み(国連の活動など)

④私たちに出来ること



IV 収集資料・活用事業

1 新収蔵品目録（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 実物資料

個人（11名）、団体（0名）から、19点の資料寄贈があった。

No	寄贈日	資料名	数量	寄贈者
1	H28.4.11	防毒マスク一式	1	宮城 忠雄
2	H28.5.11	手紙・写真	4	普久原 和男
3	H28.5.17	銃剣・砲弾の破片・瓶	3	吉江 史扇
4	H28.5.17	沖縄籍の証明書 台湾沖縄同郷会発行	1	石垣 良
5	H28.6.19	手記	1	桃原 肇
6	H28.6.19	銃弾 (M2)	1	金城 尚太
7	H28.6.20	砲弾・砲弾の破片	3	瑞慶覧 長政
8	H28.8.25	運転免許証(新聞記事も添付)	1	島袋 文雄
9	H28.9.2	砲弾の破片・写真	2	宮城 勉
10	H28.12.12	双眼鏡	1	加藤 秀剛
11	H29.3.14	ジェラルミン製トランクケース	1	根間 忠男

(2) 図書資料（DVD等含む）

5名の方から、8点の図書資料(DVD等含む) 寄贈があった。(これらは当館内の情報ライブラリーにて閲覧できます)

No	寄贈日	資料名	数量	寄贈者
1	H28.4.14	書籍『あの日僕らは戦場で』	1	今 理織
2	H28.5.8	映画『ピカドン』『琉球王国』『最後の空襲』	3	木下小夜子
3	H28.8.10	CD『みるく世がやゆら』	1	萩 京子
4	H28.10.16	絵本『僕は石敢當』『こいのぼりくん辺野古の海へ行く』	2	今 秀子
5	H28.12.7	地域史『吉里達雄戦後資料集』	1	金城 秀範

2 資料貸出実績

(1) 資料の貸出し

平成28年度は、県内外あわせて計（ 66 ）件、（ 502 ）点の貸し出しを行った。

県内 42件、（ 312 ）点

No	貸出先	貸出資料	数量	目的	貸出期間
1	那覇市立小禄小学校	平和メッセージ展作品	6	平和学習(総合学習)	4/14～4/28
2	沖縄県立南部商業高等学校	平和学習キットA・C	2	平和学習	5/9～5/22
3	南城市立百名小学校	平和学習キットA	1	平和学習 (総合学習)	5/14～5/24
		平和学習キットB	1		5/24～6/3
		沖縄戦実物資料	15		5/28～6/28
4	糸満市立西崎小学校	平和学習キットB・C	2	平和学習	5/16～5/29
5	八重瀬町立東風平中学校	ウムイ地域版セット(南部)	1	平和学習(総合学習)	5/23～6/3
6	沖縄県立美里工業高等学校	平和学習キットA	1	平和教育の展示資料	5/27～6/10
7	豊見城市立とよみ小学校	平和学習キットA・C	2	平和学習(総合学習)	5/26～6/8
		沖縄戦実物資料	10		
8	名護市立屋我地ひるぎ学園	沖縄戦実物資料	5	平和学習	5/29～6/19
		平和メッセージ展作品	9		
9	恩納村編さん委員会	沖縄戦写真パネル	1	「慰霊の日」特別企画	5/30～6/28
10	豊見城市立豊見城小学校	平和のウムイ地域版(北部・中部)	2	平和月間の展示資料	5/31～6/10
11	沖縄県立宜野座高等学校	平和メッセージ展作品	15	「慰霊の日」特別展	6/1～6/30
		沖縄戦の絵	5		

12	繁多川図書館	平和メッセージ展作品	18	「慰霊の日」特別企画	6/2～7/1
13	糸満市立潮平小学校	沖縄戦写真パネル	20	平和学習(読書週間)	6/2～6/30
14	すでいる実行委員会	沖縄戦実物資料	5	特別企画展	6/2～6/27
15	沖縄県立向陽高等学校	沖縄戦実物資料	11	「慰霊の日」特別展	6/3～6/27
16	糸満市立座安小学校	平和学習キットD	1	平和学習	6/4～6/17
17	那覇市立古蔵中学校	平和学習キットC 平和学習キットB	1 1	平和学習	6/5～6/18 6/19～7/2
18	沖縄県立南部農林高等学校	平和学習キットB 平和のウムイ地域版セット()	1 1	校内平和資料展	6/6～6/17
19	那覇市立古蔵小学校	平和学習キットA・B	2	平和学習	6/6～6/18
20	沖縄県立糸満高等学校	平和学習キットA	1	平和資料展	6/10～6/24
21	沖縄県立那覇商業高等学校	平和学習キットA	1	慰霊の日企画展	6/11～7/10
22	那覇市立石嶺小学校	沖縄戦実物資料	2	平和学習	6/11～6/16
23	中城村役場	平和学習キットA・C 沖縄戦写真パネル	2 1	平和企画展	6/13～7/4
24	沖縄県立美里工業高等学校	平和のウムイ地域版セット()	1	平和教育の展示資料	6/13～6/27
25	浦添市役所国際交流課	平和学習キットB 沖縄戦写真パネル	1 20	「慰霊の日」企画展	6/13～6/24
26	与那国町立比川小学校	平和学習キットD 平和のウムイ地域版セット(石垣)	1 1	平和学習	6/14～6/27
27	宜野湾市立嘉数中学校	沖縄戦実物資料	4	平和学習	6/14～6/24
28	久米島博物館	平和のウムイ地域版セット(久米島)	1	特別企画展	6/15～6/28
29	南城市立大里北小学校	平和学習キットB・C 沖縄戦実物資料	2 1	平和学習(総合学習)	6/18～6/25
30	豊見城市立ゆたか小学校	平和学習キットA・C	2	企画展示(平和旬間)	6/20～6/30
31	沢岬こども会	沖縄戦の絵	8	読書旬間の平和学習	6/20～6/25
32	沖縄県立泡瀬特別支援学校	平和学習キットB・D	2	平和学習	6/20～7/3
33	沖縄県立美崎特別支援学校	平和学習キットD 沖縄戦写真パネル	1 20	平和学習(読書旬間)	6/20～7/3
34	対馬丸記念館	沖縄戦実物資料	1	特別企画展	8/15～10/5
35	沖縄県立那覇高等学校PTA	島田叡関係資料	10	文化祭展示	9/12～9/25
36	恩納村博物館	沖縄戦写真パネル	1	特別企画展	9/21～10/24
37	恩納村立仲泊小学校	平和学習キット ウムイ地域版セット	2 2	修学旅行の事前学習	10/8～10/20
38	宜野湾市立普天間小学校	平和学習キットA・B 沖縄戦実物資料	2 4	平和学習	10/11～10/25
39	久米島小学校	平和学習キットA・B	2	平和学習	10/24～11/1
40	沖縄三育中学校	沖縄戦実物資料	5	平和学習(総合学習)	11/10～11/24
41	沖縄工業高等学校	沖縄戦実物資料 平和学習キットA・B・C	19 3	平和学習	12/1～12/14
42	沖縄・ベトナム「子供達がみた戦争と平和」絵画展実行委員会	平和メッセージ展作品	50	特別企画展	12/17～12/27

県外 24件、 (190) 点

No	貸出先	貸出資料	数量	目的	貸出期間
1	連合千葉	沖縄戦写真パネル 沖縄戦の絵	15 5	「平和」企画展	6/3～6/8
2	マスコミ世論研究所	沖縄戦実物資料 沖縄戦写真パネル	5 1	企画展(「沖縄戦展」)	6/8～6/23
3	京都府城陽市役所	沖縄戦写真パネル	20	平和事業	7/6～7/25
4	連合秋田	沖縄戦写真パネル	20	「平和」企画展	7/25～7/31
5	港区役所総務部	沖縄戦写真パネル	17	平和推進事業	7/25～8/19
6	美濃市職員組合	沖縄戦写真パネル	20	「平和」企画展	7/27～8/11

7	高山市職員組合	平和学習キットA・C	2	「平和」企画展	7/28～8/3
8	大阪府高塚市市民団体	平和学習キットB・C	2	「平和」企画展	8/8～8/11
9	平和のための戦争展実行委員会	平和学習キットA	1	「平和」企画展	8/9～8/12
		沖縄戦写真パネル	12		8/10～8/12
		沖縄戦の絵	6		8/10～8/13
10	東京法律事務所	平和学習キットB・C	2	「平和」企画展	8/18～8/24
11	徳島県遺族連合会	平和学習キットB・C	2	特別企画展	8/19～8/24
		ウムイ地域版(北部・中部)セット	2		
12	JTB関東法人営業長岡営業所	平和学習キットC	1	修学旅行事前学習	9/1～9/15
13	羽曳野市立生活文化情報センター	平和学習キットB	1	特別企画展	8/16～8/24
14	高取町たかむち小学校	平和学習キットA・C	2	平和学習	9/30～10/7
15	枚方市立第二中学校	平和学習キットC	1	平和学習	11/4～11/18
16	豊後大野市立犬飼中学校	平和学習キットB・C	2	文化祭展示	11/14～11/24
17	豊明高等学校	沖縄戦実物資料	12	修学旅行事前学習	11/21～12/9
		沖縄戦写真パネル	8		
18	竹原市人権センター	沖縄戦の絵	20	人権週間の展示	12/1～12/12
19	都城沖水中学校	平和学習キットB・C	2	修学旅行事前学習	2/1～2/19
20	東近江市立五個荘中学校	平和学習キットA・B	2	修学旅行事前学習	2/6～2/17
21	島根大学教育学部附属中学校	平和学習キットA・B	2	修学旅行事前学習	2/6～2/20
22	高知市立旭中学校	平和学習キットC	1	修学旅行事前学習	2/13～2/26
23	和泉市立榎尾中学校	沖縄戦実物資料	2	修学旅行事前学習	3/8～3/13
24	名鉄観光サービス高松支店	平和学習キットA・C	2	修学旅行事前学習	3/15～3/27

資料館では以下の資料の貸し出しをしています。

写真パネル（計201点）、沖縄戦実物資料（20種類）、子や孫につなぐ平和のウムイ地域版セット、児童・生徒の平和メッセージ展(図画・作文・詩入選作品パネル)、世界人権宣言絵画パネル一式（35枚）、「沖縄戦の絵」複製パネル（52点）、平和学習キット（4セット）

(2) 証言映像の貸出

平成28年度貸出実績 32件 110本(県内9件28本、県外23件 82本)、

戦争体験証言ビデオや収容所生活等の映像資料で、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを伝えることを目的に貸し出しを行っております。近年は、県外の学校から、修学旅行の事前学習教材としての利用が増えています。

- 貸出ビデオ・DVD ①VHS証言ビデオ28巻（1本に3名の証言、計81名の証言）
 ②DVD『やーさん ひーさん しかーさん —集団疎開学童の証言—』
 ③DVD『そして僕らは生き残った』
 ④DVD「強制集団死（集団自決）に係る証言映像」
 ⑤DVD『平和のウムイ』30巻（1巻10名、計300名分の証言）
 *貸出期間は2週間以内、貸出本数は5本以内となっています。

3 撮影・掲載等利用一覧

平成29年3月22日現在

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	戦争と平和の資料館ピースあいち 桐山五郎	沖縄戦米軍記録写真0307	1	4/1
2	(株)麗人社 代表取締役社長 野口和男	沖縄県平和祈念資料館外観および内観写真	13	4/8
3	琉球新報社 代表取締役社長 富田詢一	沖縄戦米軍記録写真0299	1	4/11
4	(有)スタジオ・ジップ 代表取締役社長 川崎敦文	沖縄戦米軍記録写真0090	1	4/19
5	(株)ランズ 代表取締役 市岡正朗	第3展示室におけるガマの写真データ	1	4/23
6	中日新聞東京本社 編集局長 菅沼堅吾	沖縄戦の絵写真データ 「赤ちゃんは泣かすな(上間信治)」、 「対馬丸沈没 浮かぶ子どもの死体(中島高男)」、 「艦砲射撃を受けるなごらん学徒たち(上原米子)」	3	4/25
7	すでにいるRegeneration実行委員会 山城吉徳	沖縄県平和祈念資料館外観写真	1	4/30
8	中城村役場 村長 浜田京介	沖縄戦米軍記録写真0132、0307、0551	3	5/10
9	合資会社 沖縄時事出版 名幸諄子	沖縄戦米軍記録写真0289	1	5/11
10	琉球新報社 仲吉 輝	沖縄戦米軍記録写真0200、0232、0234、0243、0302	5	5/11
11	宜野湾市立博物館 館長 千木良芳範	沖縄戦米軍記録写真0019、0032、0039、0041、0075、0078、0138、 0140、0224、0282、0287、0311、0336、0462、0551、0560、0562、 0619、0644、0647、0651、0758	22	5/13
12	ひめゆり平和祈念資料館 館長 島袋淑子	沖縄戦米軍記録写真0085、0247、0351	3	5/15
13	図書出版 平和文化 沖村民雄	沖縄戦米軍記録写真0140	1	5/17
14	読売テレビ 報道局ディレクター 有光貴幸	沖縄県平和祈念資料館の外観および内観イメージ撮影	1	5/18
15	戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす伊勢崎佐波共同センター 事務局 長谷田公子	平成25年度沖縄県全戦没者追悼式 平和の詩「へいわってすてきだね(安里有生)」	1	5/20
16	琉球新報社 仲吉 輝	沖縄戦米軍記録写真0075	1	5/20
17	琉球新報社 半嶺わかかな	沖縄戦米軍記録写真0299	1	5/20
18	琉球新報社 編集局文化部 大城徹郎	沖縄戦米軍記録写真0282	1	5/24
19	沖縄県子ども生活福祉部 平和援護・男女参画課 仲宗根康之	沖縄戦米軍記録写真0122、0371	2	5/24
20	金武町立図書館 館長 仲田 實	沖縄戦米軍記録写真0283、0286、0288、0289	4	5/25
21	(有)うえいくあつぷらんど 代表取締役社長 福井康之	沖縄戦米軍記録写真0371	1	5/25
22	琉球新報社 仲吉 輝	沖縄戦米軍記録写真0200、0232、0234、0243、0302	5	5/27
23	那覇市立繁多川図書館 館長 高吉情次	沖縄県平和祈念資料館「展示むすびのことば」	1	5/29
24	沖縄市立宮里小学校 校長 高良京子	第24回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部)「平和ドリンク(上間鈴華)」	1	5/29
25	群馬県高崎市 綿貫 円	沖縄戦米軍記録写真0085、0233、0282、0307、0336、0560、0613、 沖縄戦の絵8点、臨時招集礼状、沖縄陸軍病院20号壕、方言札など 写真データ11点	26	5/30
26	那覇市立安謝小学校 校長 島袋順正	沖縄戦米軍記録写真0018、0029、0030、0032、0045、0056、0256、 0311、0466 沖縄県平和祈念資料館外観、「展示むすびのことば」、 水筒、方言札の写真データ	14	5/31

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
27	岡山県教職員組合津山支部 藤原佳子	沖縄戦米軍記録写真0132、0252、0296、0298	4	6/1
28	(株)藤原書店 代表取締役 藤原良雄	沖縄戦米軍記録写真0032	1	6/2
29	北谷町立北谷第二小学校 司書 仲真尚代	沖縄県平和祈念資料館「展示むすびのことば」	1	6/3
30	美濃市職員組合 執行委員長 村井康浩	写真パネルデータ B001、B018、B024、B034、B042、E002	6	6/6
31	金武町立図書館 館長 仲田 實	沖縄戦米軍記録写真0294、0602、0606	3	6/7
32	豊見城市教育委員会 文化課課長 大城達宏	沖縄戦米軍記録写真0640	1	6/8
33	中城村役場 村長 浜田京介	「慰問文」写真データ	1	6/9
34	沖縄タイムス 編集局社会部 稲嶺幸弘	第26回児童・生徒の平和メッセージ展(図画の部)「イノル(松田夏姫)」	1	6/10
35	琉球新報社 編集局社会部 田吹遥子	第26回児童・生徒の平和メッセージ展(図画の部)「イノル(松田夏姫)」	1	6/10
36	京都アメリカ大学コンソーシアム マーク E リンシカム	沖縄県平和祈念資料館内観、方言札、鹿山文書、展示パネル、カミソリ等集団死の道具類などの写真データ7点	7	6/10
37	TBSテレビ 佐古忠彦	第5展示室におけるレポートの様子の撮影	1	6/13
38	宮古毎日新聞社 下地 勲	第26回児童・生徒の平和メッセージ展(図画の部)「平和の道(上田桐子)」	1	6/14
39	琉球新報社 編集局文化部部長 小那覇安剛	「戦後の人口年齢構成」展示パネルデータ	1	6/15
40	中京テレビ放送株式会社 報道部 兼松祐輔	平和学習に訪れた学生たちの様子を撮影	1	6/15
41	日本経済新聞社 那覇支局 小澤一郎	平成28年度沖縄県全戦没者追悼式 平和の詩「平和ぬ世界どう大切(仲間里咲)」	1	6/16
42	八重山毎日新聞 那覇支局 立松聖久	第26回児童・生徒の平和メッセージ展入選者 (図画の部)「おにぎりたべればなかよし(西村美音)」 (作文の部)「へい和の心(半嶺和歩)」	2	6/16
43	東京新聞 文化部 加古陽治	沖縄戦米軍記録写真0251、0256、0298	3	6/16
44	朝日新聞 那覇総局 上遠野 郷	沖縄戦米軍記録写真0307	1	6/17
45	尼崎市立中央公民館 課長 久山修司	児童・生徒の平和メッセージ展より詩7篇 「しあわせ号にのって」「終わりを告げていない戦争」「へいわはたからもの」「『今』必要なこと」「へいわってすてきだね」「空はつながっている」「平和への問い」	7	6/17
46	一般社団法人日本台湾平和基金会 許 光輝	沖縄県平和祈念資料館内観写真	1	6/19
47	一般財団法人徳島県遺族会 代表理事 増矢 稔	沖縄県平和祈念資料館外観写真3点、平和の礎写真7点、 沖縄戦米軍記録写真0085、0236、0296、0303	14	6/20
48	琉球新報社 写真映像部 具志堅千恵子	展示見学者の様子を撮影	1	6/22
49	NHK沖縄放送局 東口勝典	沖縄県平和祈念資料館展望塔からの様子を撮影	1	6/22
50	中央大学FLP松野良一ゼミ 平安山絢可	沖縄戦米軍記録写真0019、0021、0074、0075、0137、0156、0182、0226、 0247、0265、0267、0315、「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄」写真データ14 点、「日系二世が見た戦中・戦後～母国と祖国の間で～」写真データ6点	32	6/22
51	(株)博報堂 広報室雑誌「広告」編集部 増田謙治	沖縄戦米軍記録写真0075、0076、0081、0224、0254	5	7/1
52	読売新聞東京本社 編集局写真部長 吉村秀男	沖縄戦米軍記録写真0113、0132、0224、0230、0254、0269、1089、 1135	8	7/4
53	NBC長崎放送 ラジオ制作部 武富 茂	第26回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部)「平和ぬ世界どう大切(仲間里咲)」、「むかしむかしの今の今(相良倫子)」	2	7/5
54	高山市職員労働組合連合会 執行委員長 小井戸真人	沖縄戦米軍記録写真0011、0025、0132、0269	4	7/8

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
55	千葉県長生村立長生中学校 校長 保川浩基	第26回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「平和め世界どう大切(仲間里咲)」	1	7/11
56	松本市教育委員会教育部岡田公民館 館長 富岡詔子	第26回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「平和め世界どう大切(仲間里咲)」	1	7/12
57	社会福祉法人 岡谷市社会福祉協議会 会長 横内良一	児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「おきなわからへいわをとどけたい」「平和を守る座標」	2	7/14
58	有限会社 エン設計 社長 渡慶次伸	第5展示室「太平洋の要石」コーナーの概観撮影	1	7/15
59	筑前町立大刀洗平和記念館 館長 山本 寛	沖縄戦米軍記録写真0126、0127、0128、0129、0130、0131、B041、 B059	8	7/15
60	千代田区国際平和・男女平等人権課 課長 小阿瀬広道	平成25年度沖縄県全戦没者追悼式 平和の詩「へいわってすてきだね(安里有生)」	1	7/19
61	宜野湾市 宮武(加治)実知子	沖縄戦米軍記録写真0094、0282	2	7/20
62	有限会社オフィス・イデオム 代表取締役社長 松本義弘	沖縄戦米軍記録写真0021、0369、0371	3	7/21
63	沖縄県教育委員会 教育長 平敷昭人	「久米島駐屯の日本軍が降伏。米軍に軍刀を渡す指揮官の鹿山正兵 曹長」写真データ	1	7/21
64	公益財団法人 対馬丸記念館 館長 宮城清志	「加納嘉範氏手帳」画像データ	1	7/28
65	NGOロス・ミゲリートス 浜端 喬	沖縄戦米軍記録写真0131、0140、0251、0269、0303、0360、0557、 0757、0771	9	8/8
66	(株)汐文社 代表取締役社長 小安宏幸	「南洋の群星が見た理想郷と戦」	3	8/3
67	新日本出版社 田所 稔	第23回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「へいわってすてきだね(安里有生)」	1	8/10
68	株式会社サラダボウル 阿部滋子	沖縄戦米軍記録写真0283、0287、0300	3	8/18
69	国頭村史編さん委員会 委員長 宮城克松	沖縄戦米軍記録写真0529、B-64	2	8/18
70	株式会社コアステージ 小野敏明	沖縄戦米軍記録写真0032、0090、0098、0282、0299	5	8/25
71	株式会社サラダボウル 阿部滋子	沖縄戦米軍記録写真0283、0287、0300	3	8/26
72	筑前町立大刀洗平和記念館 館長 山本 寛	沖縄戦米軍記録写真0018、0023、0032、0084、0090、0132、0275、 0276	8	8/30
73	株式会社かみゆ 代表 滝沢弘康	沖縄戦米軍記録写真0269、0271	2	9/8
74	株式会社ケイ・ビー・シー映像 代表取締役社長 佐伯拓史	沖縄戦米軍記録写真0003、0010	2	9/12
75	恩納村博物館 館長 宮城利旭	沖縄戦米軍記録写真0299	1	9/28
76	与那原町教育委員会生涯学習振興課 課長 宮平律子	紙芝居3点、教科書6点資料撮影	9	9/28
77	八重山平和祈念館 館長 名城政広	衣料切符、国勢調査ポスターの写真データ2点、学童疎開船の写真 データ19点、沖縄戦の絵写真データ5点	26	10/7
78	株式会社エディット 代表取締役 小林哲夫	沖縄戦の絵写真データ2点 「10・10空襲で燃える那覇(古波鮫唯 成)」、「手榴弾を配られるひめゆり学徒隊(城間素子)」	2	10/13
79	宮古市立花輪小学校 校長 菅野 亨	第23回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「へいわってすてきだね(安里有生)」	1	10/19
80	群馬県立土屋文明記念文学館 館長 篠木れい子	「方言札(複製)」写真データ	1	10/20
81	特定非営利活動法人 オキナワ・ハンズオン・エヌピーオー 理事長 安慶名達也	沖縄戦米軍記録写真0032、0044、0132、0242、0269、0282、0287	7	10/20
82	NHK沖縄放送局放送部 副部長 松木秀文	「世界のウチナンチュ大会」に参加するために沖縄からやってきたポリビ アの子どもたちの活動のようすを撮影	1	10/25

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
83	株式会社ランズ 代表取締役 市岡正朗	沖縄戦米軍記録写真0268	1	10/25
84	株式会社ジャパンプロデュース 代表取締役 挟間忠行	沖縄戦米軍記録写真0536	1	11/2
85	慰霊塔改修・ 「平和の詩」記念碑建立委員会 委員長 知念恒男	第25回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「みるく世がやゆら(知念 捷)」	1	11/1
86	沖縄女性史を考える会 山内るり	糸数むめ氏の「引揚げ証明書」、「勤務証明書」写真データ	2	11/5
87	東京書籍株式会社 代表取締役社長 千石雅仁	沖縄戦米軍記録写真0224、0227、1224 「手榴弾」、「モンペ」写真データ	5	11/15
88	東京書籍株式会社 代表取締役社長 千石雅仁	沖縄戦米軍記録写真0224、0227、1224 「手榴弾」、「モンペ」写真データ	5	11/15
89	東京書籍株式会社 代表取締役社長 千石雅仁	沖縄戦米軍記録写真0224、0227、1224 「手榴弾」写真データ	4	11/15
90	広島経済大学メディアビジネス学科 教授 徳永博充	沖縄戦米軍記録写真0019、0025、0198、0235、0238、0299、0300 「沖縄新聞第1号(昭和21年5月4日発行)」写真データ	8	11/15
91	朝日新聞社大阪本社 編集局長 古川 伝	第23回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「へいわってすてきだね(安里有生)」	1	11/17
92	株式会社トラベローク 代表取締役 伊東一洋	沖縄県平和祈念資料館外観写真	1	11/22
93	沖縄県教育委員会 教育長 平敷昭人	「展示物に目を向ける入館者」写真データ	1	11/29
94	沖縄県教育委員会 教育長 平敷昭人	沖縄戦米軍記録写真0351	1	12/1
95	北谷町立北谷第二小学校 校長 伊波みどり	平和講話パワーポイントデータ	1	12/1
96	有限会社オフィス・イデオム 代表取締役社長 松本義弘	「陶製の手榴弾」、「砲弾の破片」、「溶けた瓶」、「櫛」写真データ 沖縄戦米軍記録写真0227	5	12/7
97	山梨日日新聞社販売部 部長 土橋琢磨	第26回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「平和ぬ世界どう大切(仲間里咲)」	1	12/7
98	東武トップスアーズ(株)東京国際事業部 部長 小熊浩司	資料館外観	1	1/11
99	(株)NHKブラネット エグゼクティブプロデューサー 由 堅太郎	沖縄戦米軍記録写真0236、0247、0253、0258、0269、0271、0282、 0287、0294	9	1/16
100	沖縄県教育委員会 教育長 平敷昭人	展示むすびの言葉	1	1/12
101	NHK制作局文化福祉番組部 部長 大里智之	第23回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「へいわってすてきだね(安里有生)」	1	1/18
102	学校法人 日本放送協会学園 生涯学習局長 矢野 朗	第24回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「空はつながっている(増田健琉)」	1	1/21
103	沖縄6.23歌と踊りの実行委員会 代表 小林正幸	第26回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「平和ぬ世界どう大切(仲間里咲)」	1	1/21
104	(有)サン印刷 代表取締役社長 宮城 剛	沖縄戦米軍記録写真0032	1	1/25
105	沖縄県教育委員会 教育長 平敷昭人	「鹿山文書」、「生命を助けるピラ」写真データ	2	1/26
106	名護市教育委員会文化課 課長 比嘉 久	沖縄戦米軍記録写真0314、0316、0358 大浦崎収容所 写真	4	1/26
107	合唱団 轟 代表 熊谷典子	第25回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「みるく世がやゆら(知念 捷)」	1	1/31
108	日本放送協会WorldNews部 部長 高田博嗣	沖縄戦米軍記録写真0270、0271	2	2/1
109	日本放送協会 報道局社会番組部 部長 矢野達史	第23回児童・生徒の平和メッセージ展(詩の部) 「へいわってすてきだね(安里有生)」	1	2/2
110	合同会社J-Enterprise 代表 李 宋洙	沖縄戦米軍記録写真 0140、0551、0554 ゴードン・ワーナー写真 024、043	5	2/7

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
111	琉球新報社 中部支社 支社長 真栄田英昭	沖縄戦米軍記録写真 0019	1	2/9
112	株式会社パム 代表取締役社長 長嶺由成	資料館外観、チケット売り場、音声ガイド、展示室風景写真など	6	2/10
113	株式会社アルバ 代表取締役社長 藤 富士乃	資料館外観	1	2/14
114	島根大学教育学部附属中学校 校長 齋藤英明	大阪朝日新聞記事、改姓の実例、方言札、防諜ポスター、伝単、 沖縄戦の日米戦力の比較、沖縄戦での日米両軍の損害	7	2/14
115	株式会社エディマート 代表取締役社長 鬼頭英治	エントランス 地下不発弾 写真	1	2/17
116	株式会社JMC 代表取締役 今泉弘幸	資料館外観	1	2/24
117	徳島県中学校人権教育研究会 会長 林 慎二	沖縄戦米軍記録写真 0613	1	3/1
118	宜野湾市立博物館 館長 千木良芳範	沖縄戦米軍記録写真0032、0078、0224、0619	4	3/3
119	しんぶん赤旗日曜版 編集長 山本豊彦	沖縄戦米軍記録写真 0009、0010	2	3/6

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第26回「児童・生徒の平和メッセージ展」

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失った。戦後71年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。



① 応募総数（2,839点） 図画1,343点 作文648点 詩848点

② 平成28年沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者
金武町立金武小学校6年 仲間里咲^{なままりき}さん 「平和ぬ世界どう大切^{ふいーわ しけー てーしち}」

③ 県内5会場、海外1会場にて展示会の実施

・沖縄県平和祈念資料館 2階海と礎の回廊	期間： 6月23日～7月7日
・八重山平和祈念館 第2展示室	期間： 7月13日～7月23日
・イオン名護ショッピングセンター	期間： 8月2日～8月9日
・沖縄県庁 1階県民ホール	期間： 8月22日～8月26日
・宮古島市役所1階ロビー	期間： 9月1日～9月9日
・米国ハワイ州	期間： 平成29年2月15日～2月28日

④ 表彰式

[日時]平成28年 8月22日 午前11時～正午 沖縄県庁 1階県民ホール

⑤ 入賞作品数（234点）

【特別支援学級・学校】 26作品

図画：最優秀 1、優秀 2、優良 2、佳作 5、	： 計10作品
作文：最優秀 1、優秀 1、優良 1、佳作 2、	： 計5作品
詩：最優秀 1、優秀 1、優良 1、佳作 8、	： 計11作品

【小学校低学年】 24作品

図画：最優秀 1、優秀 2、優良 5、佳作 7、	： 計15作品
作文：最優秀 1、優秀 1、優良 1、佳作 1、	： 計4作品
詩：最優秀 1、優秀 1、優良 1、佳作 2、	： 計5作品

【小学校高学年】 67作品
 図画：最優秀 1、 優秀 2、 優良 8、 佳作 24、 ： 計 35 作品
 作文：最優秀 1、 優秀 2、 優良 6、 佳作 14、 ： 計 23 作品
 詩：最優秀 1、 優秀 1、 優良 4、 佳作 3、 ： 計 9 作品

【中学校】 66作品
 図画：最優秀 1、 優秀 2、 優良 5、 佳作 8、 ： 計 16 作品
 作文：最優秀 1、 優秀 2、 優良 4、 佳作 21、 ： 計 28 作品
 詩：最優秀 1、 優秀 1、 優良 5、 佳作 15、 ： 計 22 作品

【高等学校】 51作品
 図画：最優秀 1、 優秀 2、 優良 2、 佳作 6、 ： 計 11 作品
 作文：最優秀 1、 優秀 1、 優良 6、 佳作 11、 ： 計 19 作品
 詩：最優秀 1、 優秀 1、 優良 0、 佳作 19、 ： 計 21 作品



平和祈念資料館オープニング



八重山平和祈念館オープニング



イオン名護店会場



県庁県民ホール表彰式 記念撮影



宮古島市役所会場の様子



ハワイ沖縄センター会場

(2) 親子ビデオ上映会

① 「子どもの日」ビデオ上映会

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧料無料に合わせて沖縄戦関連のビデオ上映を行い、親子で平和について考える機会とする。

[日時] 平成28年5月5日(木)
午後1時30分～午後3時30分

[上映作品]

『MABUI』～沖縄発・世代をつなぐ
平和へのメッセージ～

[参加者数] 68名



② 慰霊の日沖縄戦関連ビデオ上映会

「慰霊の日」関連事業の一環として、観覧料無料に合わせて沖縄戦・人権関係のビデオ上映を行い、平和や人権について考えると同時に、資料館への理解を深めてもらう機会とする。

[日時] 平成28年6月23日(木)
午後2時～午後4時32分

[上映作品]

- 「しまくとぅばで語る戦世」(60分)
- 「沖縄戦の証言」(35分)
- 「ドキュメント沖縄戦」(57分)

[参加者数] 延べ270名



(3) 夏休み子ども向け企画

① 夏休み自由研究相談室(情報ライブラリー)

[期間] 平成28年7月21日(木)～8月31日(水) 午前10時～午後5時

[内容] 自由研究の進め方やテーマの選び方などについて、助言・説明する。

[相談者数] 61名

② 夏休み子ども教室(情報ライブラリー)

[日時] 平成28年7月23日(土) 午後1時～4時

[内容] 沖縄戦について学習し、自由研究ノートづくりなどを行う。

[参加者数] 18名

- ③ 常設展示室見学「聞く、見る、分かる、展示室探検」
 【日時】8月8日、8月9日、8月10日、8月12日 10:00～12:00
 【内容】常設展示室を学芸員と一緒に見学し、沖縄戦や沖縄の歴史について理解
 深める。
 【参加者数】29名（3年生1名、4年生14名、5年生14名）
- ④ 夏休みアニメ上映（平和祈念ホール）
 【日時】8月8日、8月10日、8月12日 13:30～15:00
 【内容】戦争や平和に関するアニメを鑑賞する。（上映アニメ「おぼけ煙突のうた」
 「石の声」「一つの花」「さよならカバくん」「ダイロンゴカのいる海」
 「最後の空襲」「かつ飛ばせ！ドリーマーズ」「ピカドン」）
 【参加者数】約45名
- ⑤ 親子平和学習ツアー『親子で歩く、考える、平和ウォーキング！』
 【日時】8月13日（土）10:00～12:00
 【内容】平和祈念公園近隣にある戦跡や慰霊碑などを見学し、親子で沖縄戦及び平和
 の大切さについて学習する。
 【参加者数】大人10名、子ども8名
 （1年生1名、2年生1名、3年生3名、5年生1名、6年生2名）
 【コース】平和の礎 → 黎明之塔 → 第32軍司令部壕 → 沖縄師範健児の塔
 → 南冥の塔 → 金井戸川

【感想】・孫との初参加でしたが、説明で新たに分かったこともあり、今後、自分
 自身が受け継いでいくべきことを感じました。ありがとうございます（70代）
 ・この季節の2時間で体調のことも考えながら最大限コンパクトにつめていただ
 いた盛りだくさんのツアーだったと思います。都道府県の慰霊塔などはしりませ
 んでした。暑かったですが、この季節でなければやはりだめなのではと思いま
 した。来年も、いつか息子自らも訪れようと思ってくれたら嬉しいです。（40代）

常設展示室を観覧している児童



親子平和学習ツアーの様子



2 教育機関との連携

(1) 平和講話

設立理念にうたわれた「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校等に実施している平和講話がある。児童生徒が常設展示室を見学する前に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、常設展示の見所などを、要点をおさえて 50 分程度で説明し、平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容となっている。



平和講話のようす

[平成 28 年度 平和講話実施状況] 総計 118 校 (122 回) [12,345 名]

- ・小学校 92 校 (7,929 名) ・中学校 16 校 (2,749 名) ・高等学校 8 校 (1,403 名)
- ・特別支援学校 2 校 (264 名)

(2) 博物館学芸員実習

当館では、県内外の大学の要望に応じて、当館学芸員の指導により学芸員資格取得のための学芸業務（資料収集・保存活動、展示活動、教育普及活動）全般に係わる研修を実施し、学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供した。

[期間]

平成 28 年 8 月 18 日（木）～8 月 26 日（金） 土・日曜日を除く（7 日間）

[内容]

- ① 資料整理・分類・登録
- ② 展示準備・企画展への参加
- ③ 野外実習（近隣の戦跡、類似館の見学）
- ④ 調査研究
- ⑤ 教育普及（平和講話資料作成）

[実習生]

沖縄国際大学 2 名、南九州大学 1 名 計 3 名



展示列品実習の様子



パネル作成実習の様子

(3) 児童・生徒の職場体験（インターンシップ）

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの児童・生徒を受け入れている。平成28年度は、以下のとおり、中学校及び県立高校から15名の実習生を受け入れた。

[学校名・人数・期間]

- ・糸満市立糸満中学校 (4名) 10月31日(月)～11月2日(金)
- ・沖縄県立豊見城南高等学校 (2名) 11月9日(水)～11日(金)
- ・沖縄県立糸満高等学校 (2名) 11月9日(水)～11日(金)
- ・沖縄県立小禄高等学校 (2名) 11月15日(火)～17日(木)
- ・沖縄県立豊見城高等学校 (2名) 11月16日(水)～18日(金)
- ・沖縄県立向陽高等学校 (3名) 12月14日(水)～16日(金)

[実習内容]

- ・収集資料の分類及び整理
- ・収蔵品の分類及び整理
- ・貸出資料の点検及び整理
- ・展示室の清掃及び管理
- ・アンケートの集計作業
- ・平和講話の準備
- ・展示資料の設置及び片付け等 特別展示関係業務



一般収蔵庫の整理に汗をかく(糸満中の生徒)



図録訂正作業を黙々こなす(小禄高と豊見城南高)



資料整理に集中する(豊見城高校と糸満高校)



特別展示資料を丁寧に片付ける(向陽高校)

3 講座・講習会・研修会

(1) 特別講座（シンポジウム）

日時：平成28年11月5日（土）

午後2時～4時

場所：沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

タイトル：「“回想”～ 遥かなる大地、満洲～」

パネリスト：名城郁子氏（沖縄満州会会長）

根間忠男氏（旧満州生活体験者）

伊波盛吉氏（元中国在留邦人）

比屋根美代子氏（沖縄女性史を考える会）

参加者：125名



平成28年度特別企画展「ウチナンチュが見た満洲」（平成28年10月9日～12月11日）の関連催事として開催した。異郷の地で逞しく生きたウチナンチュの姿や終戦後の苦労した引揚げの様子等、満洲生活体験者を中心にそれぞれの思いを伝えた。



(2) 沖縄県平和祈念資料館講習会

旅行・観光等の関係者に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施。

〈日時〉平成29年2月8日（水）13:30～16:00

〈場所〉沖縄県平和祈念資料館 大会議室

〈対象〉タクシー乗務員・バスガイド・ボランティア・観光関係者等

〈講習内容〉資料館施設説明及び平和祈念公園・展示内容・沖縄戦の特徴

〈受講者〉18名



(3) 沖縄県博物館協会秋の研修会への参加

① 秋の研修会

期日：平成28年10月27日（金）

場所：うるま市石川地区公民館

沖縄県指定文化財である勝連間切南風原文書（勝連南風原地域に保存されていた文書 71 冊、地籍図 29 葉）について、保存に係る技術的過程や手法について説明及び史料としての重要性に関する研修内容であった。同文書は、明治期の村の生活様式や社会状況などが分かる歴史的意義の大きい史料であること、また、史料の保存には細心の注意と時間、最先端の技術が必要であることが分かった。

資料館においても、デジタル文書保存事業が行われており、沖縄戦争に関する重要な資料について、劣化が激しく修復が急務となっているものがあるため、時宜を得た研修となった。



うるま市立石川地区公民館で行われた
秋の研修会の様子



隣接する石川歴史民族資料館の特別企画展
『南風原文書でたどる島の歴史と風景』

(4) 平成28年度沖縄県地域史協議会への参加

沖縄県地域史協議会は、地域史づくりの発展と地域文化の振興に寄与するべく、新たな史資料の発掘、収集に努めている。当館も会員として各機関と連携をとりつつ、情報と資料の共有および交換を図るなど活動に参加している。平成28年度は下記の内容で研修会がおこなわれた。

〈2016年度沖縄県地域史協議会第1回研修会〉

- ① 期 日 平成28年5月20日(金)
- ② 場 所 浦添市男女共同参画推進ハーモニーセンター
- ③ 日 程
10:00～12:00 〈巡検〉①グスク・ようどれコース ②仲間集落コース
13:30～17:00
総 会
講演Ⅰ 「沖地協設立当時の状況」 眞栄里泰山 (沖縄大学客員教授)
講演Ⅱ 「ゆらぐ市町村史」 島袋晋作 (沖縄タイムス記者)
報告Ⅰ 「アンケートの集計結果報告」 鈴木悠 (沖縄県地域史協議会代表)

〈2016年度沖縄県地域史協議会第2回研修会〉

- ① 期 日 平成28年11月25日(金)
- ② 場 所 名護市役所屋我地支所
- ③ 日 程
10:00～13:00 〈巡検〉①羽地地域コース ②「国立療養所沖縄愛楽園」コース
14:00～17:00
講演Ⅰ 「羽地間切の地方役人について」 里井洋一 (琉球大学教育学部教授)
報告Ⅰ 「名護市に残る地方役人関連資料」 大嶺真人 (名護市教委文化課市史編さん係)
報告Ⅱ 「地域史叢書『近代辞令書報告書と近世地方役人勤書関係資料』の編集に向けて」
金城 善 (元沖縄県地域史協議会代表)



「国立療養所沖縄愛楽園」巡検のようす

(5) 県立学校初任者向け講習会における講義

高等学校、幼稚園において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修を行った。講義は主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。



[日 時] ①平成 28 年 5 月 12 日 (木)
午前 15 時 00 分～午前 16 時 00 分

②平成 28 年 8 月 8 日 (月)
午後 13 時 30 分～午後 15 時 00 分

[場 所] ①沖縄県平和祈念資料館 1 階祈念ホール
②沖縄県立総合教育センター IT 教育棟 1 階大講義室

[受講者] ①県立高等学校初任者 115 名
②幼稚園初任者 52 名

[講 義] 「学校における平和学習・教育に望むもの」



(6) 島尻地区小中教頭会研修における講話

島尻地区の小中学校教頭会が、教頭の資質向上や教育現場への波及を目的に様々な施設等を視察し教育実践力向上を図る研修。沖縄県平和祈念資料館の平和推進事業や学校との平和教育との連携、沖縄県の平和教育の基本的な考え方等の理解を図ることをねらいとしている。

[日 時] 平成 28 年 9 月 9 日 (金) 14 時 00 分～15 時 15 分

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2 階大会議室

[受講者] 島尻地区公立小中学校教頭会会員 62 名

[講 話] 「学校における平和教育に望むもの」

(7) JICA「課題別研修事業」にかかる協力

基礎教育行政を担当する開発途上国中央省庁等の行政官を対象に、それぞれの教育格差に関する課題を明らかにするとともに、研修を通して対象国の教育行政官の格差対策教育行政策定能力を高める。教育分野の課題として平和教育の概念の確立が挙げられ、平和教育の理念のみならず、手法や児童・生徒への教育的効果の理解など、自国での平和教育の実践力向上に繋げていく。

[日 時] ①平成 28 年 6 月 29 日 (水) 9 時 30 分～11 時 30 分

②平成 28 年 11 月 23 日 (水) 9 時 30 分～11 時 30 分

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2 階大会議室

[受講者] ①10 名 (ブルキナファソ、エジプト、ガーナ、マダガスカル、ニジェール、サントメプリンシペ、シエラレオネ、タンザニア、ザンビア)

② 7 名 (カンボジア、イラク、ミャンマー、パプアニューギニア)

[講 話] 「沖縄戦について・県の平和推進事業について」

(8) 沖縄県新規採用職員後期研修会

沖縄県の新規採用職員を対象に県職員としての教養や資質の向上のため、沖縄県自治研修所が主催する研修会。県直営の当資料館の存在意義を広く周知するために、新採用職員を対象に、沖縄戦の概要や資料館の働き等について理解を図る講義を提供した。

[日時]平成 28 年 10 月 4 日 (火) ・ 18 日 (火) 14 時 40 分～16 時 00 分

[場所] 沖縄県自治研修所

[受講者] ①10 月 4 日 96 名 ②10 月 18 日 97 名 計 193 名

[講義内容] 「沖縄戦について」



VI 刊行物等

○『沖縄県平和祈念資料館年報 第 16 号』

平成 27 年度の当館事業の実績報告に係わる行政資料。入館者の概要、事業内容や活動内容等。A 4 版 94 頁、500 部を平成 28 年 5 月に発行。

○「沖縄県平和祈念資料館だより」

平成 28 年度の資料館事業報告や事業計画等について周知させる広報誌。31 号を平成 28 年 8 月に、32 号を平成 29 年 3 月に A 4 版 8 頁、各 2,500 部発行。

○平成 28 年度第 17 回 特別企画展 「ウチナーンチュが見た満洲～『旧満洲国・偽満州国』～」

周知用ポスターと図録 A 4 版 68 頁、1,600 部を 10 月に発行。

○「第 26 回児童・生徒の平和メッセージ事業」

募集ポスターとチラシを 7,000 部発行。

○「第 26 回児童・生徒の平和メッセージ展実施報告書」

展示会の模様、募集要項、図画・作文・詩の最優秀・優秀作品入選作品等を掲載。A4 版 86 頁、1,000 部を 3 月に発行。

VII その他の事業

1 「戦世の記憶」 平和発信強化事業

【期間】平成28年7月～平成29年2月末日

【目的】沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に沖縄のこころを訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するという沖縄県平和祈念資料館設立理念実現のため、沖縄戦の歴史的教訓及び沖縄のこころの発信強化を図る。

【概要】

(1) 戦争体験者証言映像収録編集

平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に強く発信するため、当館がこれまでに所蔵していない新規30名の証言映像収録を行った。

◎沖縄本島：20名 離島：(宮古・久米島) 10名 ※外地も対象とする。



(収録の様子：宜野座村)



(収録の様子：宮古島市)

(2) 戦争体験者証言の多言語翻訳

戦争体験者の証言を通じて、外国語を母国語とする人たちが戦争の実相を理解し、平和について考えることができるような資料とするため、戦争体験者証言の多言語翻訳を行った。

※多言語化＝ 英語、中国語（簡体字）、韓国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、マレーシア語（日本語以外の7言語）

《多言語証言例》

《韓国語版》

동일거리 주사를 놓으려는 명령을 받다 -고려다 야전병원에서의 체험-

성명: 후쿠야마 나츠코 福山 菜穂子
 생년월일: 1928년 8월 5일
 출신지: 오키나와현
 당시 직: 여사 학교장(지파루에 학교장)

■주마부곡의 야전병원으로 복귀, 1945년 10월
 10월 중순쯤이었던 겁니다. 기노현의 야전병원입니다.
 “그중으로 보이도록”이라는 명령을 받고 모두 보였어요.
 그때 직책은 2학년이었어요. “2학년생은 다미부리고, 3학년생은 4학년병원으로 가라”라는 명령이 내려졌습니다.
 “저희는 아무것도 가져가지 않아요”라고 정말 진성있게 말했어요.
 원장 선생님은 “역시시네요”라 하시면서, 간호사 만지는 물체, 그러니까 저희는 정적으로 돌입을 하지는 않았지만 이 번거움을 가지고 가거나, 부대에 도착하면 [의, 직은] 원 병원 출신입니다”라고 말하고 이것을 보여주세요. 이것만 간호사로 현장을

《フランス語版》

Mes regrets quant au décès de mon petit frère

Nom: Shizuki Meryama (石城 史子)
 Âge à l'époque: 19 ans (née en janvier 1925)
 Situation à l'époque: employée chez Nanyo Kotatsu

[Retourer à vivre à Okinawa]
 À l'époque, les gens qui venaient dans les îles de la mer du Sud étaient ceux qui rejoignent leur famille et ceux qui y avaient trouvé du travail. Je suis partie de Naha avec environ 30 personnes dont Sakikama-sen de Motobu. Depuis Yukuetsu, nous allions à Saipan en passant par Moji. À Okinawa, on ne mangeait du riz que deux fois par an : pour Obon et le Nouvel An. L'aliment de base était la patate douce. Même si nous avions des légumes et du poisson, il n'y avait pas de viande. Je n'avais jamais mangé d'œuf de poule. La viande était une denrée de grande valeur. À Nouvel An, les gens tuaient un coq. Sa viande était préparée en awokô (pore sué) et stockée avec soin. On en mangeait

(3) 所蔵資料のデジタル化

当館所蔵の沖縄戦証言ビデオテープ等のデジタル化、米軍沖縄戦フィルム等のデジタル化、沖縄県遺族連合会資料のデジタル化を行った。

《所蔵資料のデジタル化作業の様子》



《 成果物 》



既存証言ビデオテープの
DVD変換デジタル化



デジタルデータを収納するRAID



デジタルデータ一式

2 JICA草の根技術協力事業

1. 事業名： 「沖縄・カンボジア 博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」
2. 実施主体： JICA 沖縄 ※主催：NPO 沖縄平和協力センター（OPAC）
3. 実施協力： 沖縄県平和祈念資料館（平和教育及び展示教育の専門家派遣、研修と支援実施）
4. 支援対象： カンボジア王国 国立トゥール・スレン虐殺博物館（プノンペン市）
5. 実施期間： 平成28年6月～平成29年6月

平成21年（2009年）～平成27年（2015年）にかけて沖縄県（沖縄県平和祈念資料館及び沖縄県立博物館・美術館）が行ったJICA草の根技術協力事業のフォローアップ事業に協力した。

TSGMは、史上最悪の大虐殺のひとつとされる、クメール・ルージュ政権（ポル・ポト派）による大虐殺（推定100万人～300万人）の記憶を伝える資料を展示しており、ユネスコ世界記憶遺産にも指定されている。この事業を通して、当館よりTSGMの教育普及チームに対して平和教育の普及に関するスキルを伝えることができた。

《 主な支援活動 》

- ① TSGMの理念にあたる「Vision（構想）」と「Mission（使命）」を策定する。
- ② TSGMの展示活動、教育活動内容を紹介した「学習の手引き」を作成する。
- ③ 教育普及部の平和講話を実施するための「平和講話指導計画」を作成する。
- ④ 教育普及部内のスキル蓄積、人材育成を図るためのPDCAサイクルを確立する。
- ⑤ 沖縄より3回の専門家派遣（平成28年8月、平成29年3月、5月）
- ⑥ TSGM教育普及部スタッフ2名の沖縄研修 平成28年9月 約2週間

※関連 派遣教師による平和教育公開授業 平成28年12月 県立八重山商工高等学校

平成28年8月には、当館学芸班より2名の職員を現地に派遣（第1回専門家派遣）するとともに、沖縄県内における平和教育の推進を目的に公募によって選ばれた県内高校教員1名にも同行してもらった。



TSGM 内での教育普及部向け研修



TSGMにて。派遣教員（右側2番目）による私立学校へのモデル平和講話。

同9月には、T S G Mから教育普及チームの若手リーダー2名が来県し、平和教育に関する研修を実施。また、県立首里高等学校の協力により、研修員による公開授業も実施した。同12月には、県立八重山商工高等学校にてカンボジア派遣教員による公開授業も行った。



県立首里高校でのT S G M
研修員による平和講話(公開)



研修による改善を重ねた
TSGM内の平和講話



沖縄とカンボジア、両国の高校生が平和メッセージの交換を通して平和交流。受け渡しの様子。

3 その他展示会等

No	開催期間	日数	使用会場	イベント名	主催者
1	6月3日～6月28日	26日間	1階柱廊、2階ギャラリー、 海と礎の回廊、企画展示室	マブニ・ピース・プロジェクト、沖縄2016 「響く・つながる・創造する いのち」	すでいる - REGENERATION - プロジェクト実行委員会

VII 入館者状況

1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館日数	一日平均入館者数 ※1	入館者総数 ※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2016年4月	6,177 (265)	778 (43)	6,955 (308)	3,526 (348)	19,369 (3,843)	22,895 (4,191)	9,703 (613)	20,147 (3,886)	29,850 (4,499)	30	995	38,484
2016年5月	6,700 (225)	679 (117)	7,379 (342)	4,018 (595)	29,939 (4,646)	33,957 (5,241)	10,718 (820)	30,618 (4,763)	41,336 (5,583)	31	1,333	50,989
2016年6月	8,473 (2,306)	2,192 (1,694)	10,665 (4,000)	3,780 (318)	29,754 (4,772)	33,534 (5,090)	12,253 (2,624)	31,946 (6,466)	44,199 (9,090)	30	1,473	60,549
2016年7月	6,348 (185)	1,284 (21)	7,632 (206)	1,060 (152)	3,575 (1,848)	4,635 (2,000)	7,408 (337)	4,859 (1,869)	12,267 (2,206)	28	438	22,240
2016年8月	8,818 (433)	3,100 (18)	11,918 (451)	659 (82)	962 (240)	1,621 (322)	9,477 (515)	4,062 (258)	13,539 (773)	31	437	24,558
2016年9月	6,089 (125)	1,008 (19)	7,097 (144)	1,277 (87)	7,091 (893)	8,368 (980)	7,366 (212)	8,099 (912)	15,465 (1,124)	30	516	23,395
2016年10月	7,504 (1,737)	510 (99)	8,014 (1,836)	3,609 (73)	40,767 (700)	44,376 (773)	11,113 (1,810)	41,277 (799)	52,390 (2,609)	31	1,690	58,349
2016年11月	6,710 (292)	515 (54)	7,225 (346)	3,793 (141)	44,905 (1,115)	48,698 (1,256)	10,503 (433)	45,420 (1,169)	55,923 (1,602)	30	1,864	60,021
2016年12月	5,408 (380)	651 (48)	6,059 (428)	2,757 (163)	36,304 (1,054)	39,061 (1,217)	8,165 (543)	36,955 (1,102)	45,120 (1,645)	28	1,611	48,469
2017年1月	6,104 (222)	792 (19)	6,896 (241)	1,772 (113)	14,122 (720)	15,894 (833)	7,876 (335)	14,914 (739)	22,790 (1,074)	28	814	30,003
2017年2月	5,935 (178)	870 (43)	6,805 (221)	1,462 (132)	10,185 (511)	11,647 (643)	7,397 (310)	11,055 (554)	18,452 (864)	28	659	26,959
2017年3月	7,781 (309)	2,268 (18)	10,049 (327)	1,752 (0)	9,370 (0)	11,122 (0)	9,533 (309)	11,638 (18)	21,171 (327)	31	683	31,046
合計	82,047 (6,657)	14,647 (2,193)	96,694 (8,850)	29,465 (2,204)	246,343 (20,342)	275,808 (22,546)	111,512 (8,861)	260,990 (22,535)	372,502 (31,396)	356	1,046	475,062

() は内数で無料入場者数

※1 は平和記念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和記念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧											開館 日数	平均	
	観覧券種別					出身別								計
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	外国	県外	県内	外国	外国	外国	外国			
2000年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552		
2001年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074		
2002年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206		
2003年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284		
2004年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263		
2005年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325		
2006年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253		
2007年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228		
2008年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207		
2009年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135		
2010年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116		
2011年度	69,648 (19)	28,662 (8)	11,586 (3)	249,400 (70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103		
2012年度	70,341 (21)	29,600 (9)	10,469 (3)	227,827 (67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044		
2013年度	74,165 (22)	26,641 (8)	11,004 (3)	232,295 (68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046		
2014年度	70,529 (21)	27,000 (8)	10,276 (3)	223,917 (68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026		
2015年度	78,673 (23)	29,449 (9)	12,481 (4)	218,478 (64)	9,038	317,869	12,174	339,081	32,287	371,368	358	1,037		
2016年度	75,390 (22)	27,261 (8)	12,454 (4)	226,001 (66)	7,963	319,109	14,034	341,106	31,396	372,502	356	1,046		
累計								6,186,478	593,555	6,780,033	5,803	1,168		

参考
慰霊の日無料入館者数

年度	入館者数	年度	入館者数
2000年度	4,966	2009年度	4,649
2001年度	3,157	2010年度	5,479
2002年度	4,750	2011年度	3,665
2003年度	4,259	2012年度	3,240
2004年度	4,849	2013年度	3,797
2005年度	3,815	2014年度	3,239
2006年度	2,813	2015年度	4,007
2007年度	3,785	2016年度	3,701
2008年度	4,257	合計	68,428

3 月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況

月	児童・生徒・学生												少年の船・青年の船等		合計			
	県内						県外						県内・県外総計					
	小学校	中学校	高等学校	大学	計		小学校	中学校	高等学校	大学	計		小学校	中学校		高等学校	大学	計
4月	団体数 (28)	2 (2)	2 (1)	0 (0)	32 (31)	0 (0)	1 (0)	111 (0)	22 (1)	1 (0)	135 (1)	29 (28)	113 (2)	24 (2)	1 (0)	167 (32)	10 (6)	177 (38)
人数	2,882 (2882)	349 (349)	347 (282)	0 (0)	3,578 (3513)	0 (0)	108 (0)	12,092 (0)	2,925 (50)	75 (0)	15,200 (50)	2,990 (2882)	12,441 (349)	3,272 (332)	75 (0)	18,778 (3563)	591 (280)	19,369 (3843)
5月	団体数 (35)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	47 (45)	1 (0)	5 (0)	156 (1)	31 (0)	2 (0)	194 (1)	41 (35)	164 (9)	33 (2)	3 (0)	241 (46)	13 (10)	254 (56)
人数	2,782 (2754)	1,493 (1493)	56 (56)	41 (0)	4,372 (4303)	0 (0)	283 (0)	19,563 (6)	5,266 (0)	40 (0)	25,152 (2754)	3,065 (2754)	21,056 (1499)	5,322 (56)	81 (0)	29,524 (4309)	415 (337)	29,939 (4646)
6月	団体数 (33)	14 (13)	5 (4)	2 (0)	57 (50)	2 (0)	8 (1)	97 (0)	59 (0)	0 (0)	164 (1)	44 (34)	111 (13)	64 (4)	2 (0)	221 (51)	8 (5)	229 (56)
人数	2,539 (2457)	1,920 (1887)	230 (212)	159 (0)	4,848 (4556)	0 (0)	307 (73)	14,163 (0)	10,157 (0)	0 (0)	24,627 (73)	2,846 (2530)	16,083 (1887)	10,387 (212)	159 (0)	29,475 (4629)	247 (143)	29,722 (4772)
7月	団体数 (6)	7 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (9)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	14 (0)	0 (0)	18 (0)	8 (6)	6 (3)	17 (3)	0 (0)	31 (12)	8 (0)	39 (12)
人数	545 (514)	376 (376)	958 (958)	0 (0)	1,879 (1848)	0 (0)	58 (0)	91 (0)	1,222 (0)	0 (0)	1,371 (0)	603 (514)	467 (376)	2,180 (958)	0 (0)	3,250 (1848)	297 (0)	3,547 (1848)
8月	団体数 (1)	7 (1)	2 (2)	2 (0)	12 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	7 (1)	2 (1)	2 (2)	4 (0)	15 (4)	11 (1)	26 (5)
人数	281 (94)	37 (37)	92 (92)	42 (0)	452 (223)	0 (0)	0 (0)	23 (0)	0 (0)	78 (0)	101 (0)	281 (94)	60 (37)	92 (92)	120 (0)	553 (223)	409 (17)	962 (240)
9月	団体数 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	32 (0)	5 (0)	39 (0)	8 (8)	3 (1)	32 (0)	5 (0)	48 (9)	3 (2)	51 (11)
人数	574 (574)	200 (200)	0 (0)	0 (0)	774 (774)	0 (0)	0 (0)	71 (0)	5,874 (0)	192 (0)	6,137 (0)	574 (574)	271 (200)	5,874 (958)	192 (0)	6,911 (774)	180 (119)	7,091 (893)
10月	団体数 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	2 (0)	13 (0)	196 (0)	1 (0)	212 (0)	19 (17)	13 (0)	196 (0)	1 (0)	229 (17)	3 (1)	232 (18)
人数	677 (677)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	677 (677)	0 (0)	123 (0)	1,129 (0)	38,684 (0)	30 (0)	39,966 (0)	800 (677)	1,129 (0)	38,684 (0)	30 (0)	40,643 (677)	124 (23)	40,767 (700)
11月	団体数 (18)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	0 (0)	13 (0)	227 (1)	0 (0)	240 (1)	18 (18)	15 (2)	227 (1)	0 (0)	260 (21)	4 (2)	264 (23)
人数	811 (811)	195 (195)	0 (0)	0 (0)	1,006 (1006)	0 (0)	0 (0)	1,319 (0)	42,411 (31)	0 (0)	43,730 (31)	811 (811)	1,514 (195)	42,411 (31)	0 (0)	44,736 (1037)	169 (78)	44,905 (1115)
12月	団体数 (9)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	37 (0)	177 (2)	1 (0)	215 (2)	9 (9)	37 (0)	178 (3)	1 (0)	225 (12)	11 (5)	236 (17)
人数	517 (517)	0 (0)	320 (320)	0 (0)	837 (837)	0 (0)	0 (0)	3,156 (0)	31,935 (29)	20 (0)	35,111 (29)	517 (517)	3,156 (0)	32,255 (349)	20 (0)	35,948 (866)	356 (188)	36,304 (1054)
1月	団体数 (6)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	1 (0)	5 (0)	61 (1)	1 (0)	68 (1)	7 (6)	6 (1)	61 (1)	1 (0)	75 (8)	11 (3)	86 (11)
人数	360 (360)	158 (158)	0 (0)	0 (0)	518 (263)	0 (0)	18 (0)	656 (0)	12,480 (94)	38 (0)	13,192 (94)	378 (360)	814 (158)	12,480 (94)	38 (0)	13,710 (612)	379 (108)	14,089 (720)
2月	団体数 (4)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	3 (0)	7 (0)	42 (1)	3 (0)	55 (1)	7 (4)	7 (0)	43 (2)	3 (0)	60 (6)	8 (6)	68 (12)
人数	266 (266)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	283 (0)	0 (0)	162 (0)	1,137 (0)	8,207 (56)	104 (0)	9,610 (56)	428 (266)	1,137 (0)	8,224 (73)	104 (0)	9,893 (339)	292 (172)	10,185 (511)
3月	団体数 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)	49 (0)	4 (0)	59 (0)	0 (0)	6 (0)	49 (0)	5 (0)	60 (0)	9 (0)	69 (0)
人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	20 (0)	20 (0)	0 (0)	0 (0)	853 (0)	7,496 (0)	740 (0)	9,089 (0)	0 (0)	853 (0)	7,496 (0)	760 (0)	9,109 (0)	251 (0)	9,360 (0)
人数	176 (165)	32 (31)	16 (14)	6 (0)	230 (210)	0 (0)	21 (1)	451 (1)	910 (6)	20 (0)	1,402 (8)	197 (166)	483 (32)	926 (20)	26 (0)	1,632 (218)	99 (41)	1,731 (259)
合計	12,234 (11906)	4,728 (4695)	2,020 (1937)	262 (0)	19,244 (18538)	0 (0)	1,059 (73)	54,253 (6)	166,657 (260)	1,317 (0)	223,286 (339)	13,293 (11979)	58,981 (4701)	168,677 (2197)	1,579 (0)	242,530 (18877)	3,710 (1465)	246,240 (20342)

() は内数で無料入館者数

4 市町村別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 那覇市	33	3,031	8	1,266	4	366	2	117	47	4,780	24	1,147	71	5,927
2 うるま市	12	919	4	463	2	400	1	41	19	1,823	0	109	19	1,932
3 宜野湾市	4	405	0	0	1	18	1	21	6	444	5	186	11	630
4 宮古島市	14	536	0	0	0	0	0	0	14	536	0	59	14	595
5 石垣市	8	465	0	0	0	0	0	0	8	465	0	40	8	505
6 浦添市	10	1,202	4	872	2	91	0	0	16	2,165	12	814	28	2,979
7 名護市	9	606	2	54	0	0	0	0	11	660	2	138	13	798
8 糸満市	9	568	3	446	0	0	0	0	12	1,014	7	283	19	1,297
9 沖縄市	13	1,111	3	470	2	680	0	0	18	2,261	13	610	31	2,871
10 豊見城市	9	786	3	357	0	0	0	0	12	1,143	4	226	16	1,369
11 南城市	8	473	1	120	0	0	0	0	9	593	5	171	14	764
12 国頭村	2	34	0	0	0	0	0	0	2	34	1	34	3	68
13 大宜味村	1	28	0	0	0	0	0	0	1	28	0	5	1	33
14 東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 今帰仁村	3	95	0	0	0	0	0	0	3	95	3	102	6	197
16 本部町	5	157	0	0	0	0	0	0	5	157	1	47	6	204
17 恩納村	2	48	0	0	0	0	0	0	2	48	3	182	5	230
18 宜野座村	2	63	0	0	0	0	0	0	2	63	1	33	3	96
19 金武町	2	112	0	0	0	0	0	0	2	112	1	51	3	163
20 伊江村	2	39	0	0	0	0	0	0	2	39	0	7	2	46
21 読谷村	1	77	0	0	1	320	0	0	2	397	3	173	5	570
22 嘉手納町	1	17	0	0	2	89	0	0	3	106	16	658	19	764
23 北谷町	2	157	0	0	0	0	0	0	2	157	0	7	2	164
24 北中城村	1	123	1	160	0	0	0	0	2	283	0	18	2	301
25 中城村	1	43	1	142	0	0	0	0	2	185	0	16	2	201
26 西原町	3	295	2	378	0	0	2	83	7	756	1	67	8	823
27 八重瀬町	3	235	0	0	1	27	0	0	4	262	3	324	7	586
28 与那原町	1	129	0	0	0	0	0	0	1	129	1	16	2	145
29 南風原町	5	345	0	0	1	29	0	0	6	374	0	27	6	401
30 久米島町	2	62	0	0	0	0	0	0	2	62	0	11	2	73
31 渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 座間味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 栗国村	1	9	0	0	0	0	0	0	1	9	0	4	1	13
34 渡名喜村	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3	0	2	1	5
35 南大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 伊平屋村	1	18	0	0	0	0	0	0	1	18	0	3	1	21
38 伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 多良間村	1	11	0	0	0	0	0	0	1	11	0	3	1	14
40 竹富町	3	23	0	0	0	0	0	0	3	23	0	12	3	35
41 与那国町	1	9	0	0	0	0	0	0	1	9	0	3	1	12
合計	176	12,234	32	4,728	16	2,020	6	262	230	19,244	106	5,588	336	24,832

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

都道府県名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	1	58	0	0	20	2,436	0	0	21	2,494	9	504	30	2,998
2 青森県	0	0	0	0	6	737	1	33	7	770	3	106	10	876
3 岩手県	0	0	2	100	4	196	0	0	6	296	3	110	9	406
4 宮城県	0	0	0	0	11	851	0	0	11	851	3	123	14	974
5 秋田県	0	0	1	90	0	0	0	0	1	90	1	26	2	116
6 山形県	0	0	5	437	4	326	0	0	9	763	4	190	13	953
7 福島県	0	0	2	116	9	1,189	0	0	11	1,305	5	274	16	1,579
8 茨城県	0	0	1	173	41	8,073	0	0	42	8,246	12	872	54	9,118
9 栃木県	0	0	0	0	39	7,069	0	0	39	7,069	1	461	40	7,530
10 群馬県	0	0	1	39	21	3,255	0	0	22	3,294	8	443	30	3,737
11 埼玉県	0	0	1	176	87	20,186	1	75	89	20,437	12	1,593	101	22,030
12 千葉県	1	20	0	0	53	12,250	0	0	54	12,270	8	837	62	13,107
13 東京都	3	149	17	1,643	190	35,507	11	742	221	38,041	57	4,565	278	42,606
14 神奈川県	2	37	6	652	90	19,044	1	23	99	19,756	10	1,212	109	20,968
15 新潟県	0	0	1	121	8	1,335	0	0	9	1,456	5	190	14	1,646
16 富山県	0	0	3	277	0	0	0	0	3	277	1	73	4	350
17 石川県	0	0	1	25	2	177	0	0	3	202	2	79	5	281
18 福井県	0	0	0	0	3	864	0	0	3	864	2	108	5	972
19 山梨県	0	0	0	0	22	3,431	0	0	22	3,431	1	270	23	3,701
20 長野県	0	0	0	0	36	6,268	0	0	36	6,268	5	441	41	6,709
21 岐阜県	0	0	1	157	38	7,287	0	0	39	7,444	8	651	47	8,095
22 静岡県	1	48	2	191	57	8,754	0	7	60	9,000	9	862	69	9,862
23 愛知県	0	0	9	1,713	68	13,518	3	347	80	15,578	14	1,320	94	16,898
24 三重県	0	0	8	863	14	2,790	0	0	22	3,653	3	375	25	4,028
25 滋賀県	0	0	31	4,039	3	718	0	0	34	4,757	4	518	38	5,275
26 京都府	1	35	21	3,093	11	1,712	0	0	33	4,840	4	516	37	5,356
27 大阪府	1	75	75	12,016	15	2,609	0	0	91	14,700	10	1,415	101	16,115
28 兵庫県	2	84	64	9,233	15	2,721	1	23	82	12,061	5	1,057	87	13,118
29 奈良県	0	0	22	2,397	0	0	0	0	22	2,397	0	175	22	2,572
30 和歌山県	0	0	5	253	0	0	0	0	5	253	0	24	5	277
31 鳥取県	0	0	9	683	0	0	0	0	9	683	3	148	12	831
32 島根県	0	0	2	155	1	41	0	0	3	196	2	78	5	274
33 岡山県	1	112	56	5,398	7	226	1	28	65	5,764	7	764	72	6,528
34 広島県	0	0	9	646	7	1,191	0	0	16	1,837	9	534	25	2,371
35 山口県	0	0	1	137	4	119	0	0	5	256	5	182	10	438
36 徳島県	0	0	7	731	0	0	0	0	7	731	1	86	8	817
37 香川県	0	0	21	3,177	1	98	0	0	22	3,275	1	259	23	3,534
38 愛媛県	0	0	0	0	7	327	0	0	7	327	5	131	12	458
39 高知県	0	0	20	1,546	0	0	0	0	20	1,546	2	191	22	1,737
40 福岡県	1	78	10	1,075	10	1,197	0	0	21	2,350	23	1,946	44	4,296
41 佐賀県	0	0	2	100	0	0	0	0	2	100	2	107	4	207
42 長崎県	0	0	3	277	1	22	0	0	4	299	4	193	8	492
43 熊本県	0	0	21	2,031	0	0	0	0	21	2,031	3	250	24	2,281
44 大分県	0	0	2	94	2	54	0	0	4	148	5	155	9	303
45 宮崎県	0	0	6	306	3	79	1	39	10	424	6	247	16	671
46 鹿児島県	7	363	3	93	0	0	0	0	10	456	5	204	15	660
合計	21	1,059	451	54,253	910	166,657	20	1,317	1,402	223,286	292	24,865	1,694	248,151
47 沖縄県	176	12,234	32	4,728	16	2,020	6	262	230	19,244	106	5,588	336	24,832

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

IX 八重山平和祈念館

1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成をめざす。

(1) 設立経過

1989（平成元）年

- 5月28日 戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者支援会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。
- 10月16日 沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」を決議される。

1995（平成7）年

- 12月25日 平成8年度国庫予算において、事務次官折衝の中でマラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。
慰藉事業の内訳は、次のとおりである。

- ① 慰霊碑建立
- ② 八重山平和祈念館建設
- ③ マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂事業
- ④ マラリア死没者慰藉のための追悼事業

1997（平成9）年

- 3月31日 八重山平和祈念館竣工

1998（平成10）年

- 1月 八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月まで）
- 5月 八重山平和祈念館基本計画策定
- 11月 八重山平和祈念館監修委員会開催（平成11年2月まで）
八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注
（平成11年3月まで）

1999（平成11）年

- 3月 「沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」一部改正。「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。
- 5月28日 八重山平和祈念館開館式
- 5月29日 八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

- ① 総面積 : 520 m²
- ② 各室面積
 - 第1展示室 : 130 m²
 - 第2展示室 : 120 m²
 - 保管室 : 20 m²
 - 図書室 : 30 m²
 - 会議室 : 45 m²
 - 事務室 : 30 m²

(3) 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

(4) 休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

(5) 観覧料

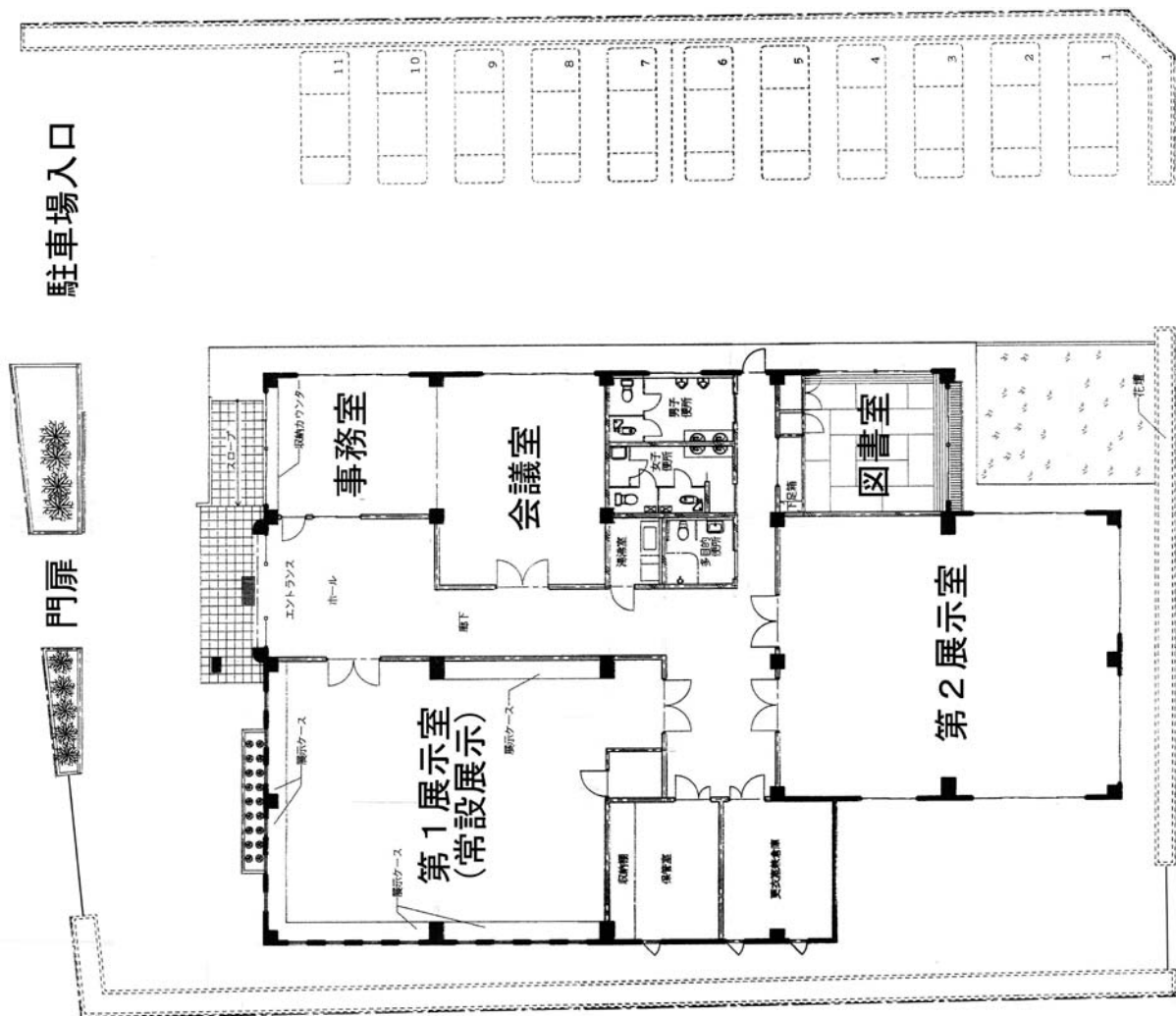
大人 100円 団体 70円 ※団体は20名以上
 子ども 50円 団体 35円

(6) 展示構成

- ① アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
- ② 沖縄戦と八重山
- ③ 戦争マラリアの悲劇
- ④ マラリア根絶に向かって
- ⑤ 戦争マラリア援護会の活動
- ⑥ 八重山地域における平和発信拠点を目指して

(7) 展示物の内容

- ① 写真、地図、絵のパネル等
- ② 戦前の切手、紙幣、硬貨等
- ③ 遺品類（ハガキ、キセル等）
- ④ 高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）
- ⑤ 児童生徒の平和メッセージ展の八重山地区受賞作品（詩、図画、作文）



3 事業概要

(1) 展示活動

① 「第3回収藏品展～収藏品から見る当時の暮らし～」

戦後71年を経過し、戦争だけではなく、戦前の生活風景が分からない世代が多くなった。当時の戦争関連資料や生活用品を一般に公開した。

[期間] 平成28年5月28日(土)～6月26日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] 第1部 戦時中のモノ
第2部 モノから見る当時の生活
第3部 当時の生活風景(生活の再現)

[入場者] 972名



② 「沖縄の戦時船舶と尖閣列島戦時遭難事件」展

昔から島々を結ぶ重要な手段となっていた船という乗り物に焦点をあて、船にまつわる八重山の歴史を振り返った。

また、後半では、大戦末期に起きた「尖閣列島戦時遭難事件」を取り上げ、平和を考える機会とした。

[期間] 平成28年10月29日(土)～11月27日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 415名



③ 第17回特別企画展「ウチナンチュが見た満洲～「旧満洲国」・「偽満洲国」～(本館移動展)

戦前、開拓移民や自由移民として満洲に渡ったウチナンチュの記録や、戦後、旧満洲から帰国したウチナンチュの記憶を題材とし、多くの方々に「旧満洲国」について理解を深めてもらう機会とした。

[期間] 平成28年1月21日(土)～2月23日(木)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] 第1章 雄飛を夢見た大地旧満洲
第2章 ウチナンチュの足跡
第3章 戦に翻弄された沖縄

[入場者] 377名



(2) 平和教育活動

① 学校教員向け見学説明会

学校で平和活動が活発に行われる6月を前に、学校教員を対象に、館内の展示解説、利用や活用方法等を説明し、学校の利用促進を図った。

[日時] 平成28年5月26日(木)～6月10日(金)

[場所] 八重山平和祈念館

[参加者] 21名(初任者教員及び初任研担当教員等)



② 慰霊の日 ビデオ上映会

沖縄県の慰霊の日にあたり、平和とは何かを考えさせる映画を上映することで、児童生徒への平和教育への一環とした。

[日時] 平成28年6月23日(木)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 98名



③ 第26回 児童・生徒の平和メッセージ展

本館で主催したメッセージ展の八重山会場として、児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の優秀作品の展示を行い、「児童・生徒の平和メッセージ」を発信する機会とした。

[期間] 平成28年7月13日(水)～7月23日(土)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 164名



④ 夏休み企画(夏休み調べ学習相談室等)

夏休みの平和学習の場として、自由研究等に取り組む児童生徒への支援を行い、併せて体験学習コーナーやアニメビデオ上映会を行った。

[期間] 平成28年8月9日(火)～8月26日(金)

[場所] 八重山平和祈念館

[内容] 夏休み調べ学習相談室

体験学習コーナー(ソテツの葉で虫かごづくり)

夏休みアニメ上映会

[参加者] 155名



⑤ 八重山平和祈念館高校生平和ガイド養成講座

平成 26、27 年度に引き続き、高校生平和ガイド養成講座を行った。

今後、平和ガイドとして、平和学習で来館する県内外の児童・生徒に対して館内の解説を予定している。

[場所] 八重山平和祈念館

[内容] 平成 29 年 3 月 19 日 (日) 沖縄県の平和行政及び八重山平和祈念館について

平成 29 年 3 月 20 日 (月) 沖縄戦と八重山の戦争 (戦前～沖縄戦)

平成 29 年 3 月 28 日 (火) 体験者の講話、戦争遺跡巡り

平成 29 年 3 月 30 日 (木) 戦後の沖縄と八重山 (戦後～現在)

現在の世界の状況

[受講者] 4 名

(3) 調査研究活動

① 聞き取り・現地調査・類似館視察等

企画展の充実、沖縄戦、八重山地域の戦争、戦争マラリアに関する認識を深めるため、資料収集に合わせて体験者への聞き取り調査や、現地調査、類似館視察を実地した。

[対象] 戦争体験や企画に関する人や場所等。

[内容] 平成 29 年 3 月 28 日 (火) 戦跡巡り (白水避難地、ヘーギナー飛行場等)

月別入館者数 平成28年度 八重山平和祈念館

	常設展示室(第1展示室)												第2展示室 企画展等 入館者数 ※入場無料
	個人入館者数				団体入館者数				入館者総数				
	大人	小人	合計		大人	小人	合計		大人	小人	合計		
平成28年4月	114 (5)	9	123 (5)		39 (5)	57 (0)	96 (5)		153 (10)	66 (0)	219 (10)		59
平成28年5月	159 (28)	14 (6)	173 (34)		46 (17)	71 (71)	117 (88)		205 (45)	85 (77)	290 (122)		913
平成28年6月	169 (58)	57 (50)	226 (108)		98 (77)	622 (622)	720 (699)		267 (135)	679 (672)	946 (807)		164
平成28年7月	165 (47)	49 (40)	214 (87)		85 (15)	57 (41)	142 (56)		250 (62)	106 (81)	356 (143)		155
平成28年8月	139 (17)	56 (25)	195 (42)		18 (18)	39 (39)	57 (57)		157 (35)	95 (64)	252 (99)		
平成28年9月	109 (2)	22 (6)	131 (8)		3 (1)	20 (0)	23 (1)		112 (3)	42 (6)	154 (9)		
平成28年10月	101 (8)	22 (9)	123 (17)		0 (0)	0 (0)	0 (0)		101 (8)	22 (9)	123 (17)		37
平成28年11月	139 (24)	10 (5)	149 (29)		48 (4)	0 (0)	48 (4)		187 (28)	10 (5)	197 (33)		378
平成28年12月	125 (25)	13 (9)	138 (34)		0 (0)	0 (0)	0 (0)		125 (25)	13 (9)	138 (34)		
平成29年1月	136 (2)	13 (3)	149 (5)		45 (23)	0 (0)	45 (23)		181 (25)	13 (3)	194 (28)		133
平成29年2月	161 (7)	6 (3)	167 (10)		38 (3)	0 (0)	38 (3)		199 (10)	6 (3)	205 (13)		244
平成29年3月	129 (14)	35 (2)	164 (16)		52 (12)	635 (0)	687 (12)		181 (26)	670 (2)	851 (28)		
合計	1,646 (237)	306 (158)	1,952 (395)		472 (175)	1,501 (773)	1,973 (948)		2,118 (412)	1,807 (931)	3,925 (1,343)		2,083

()は内数で無料入場者数

X 沖縄県平和祈念資料館友の会

1 活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話及び絵本の読み聞かせ
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車による戦跡案内
- (6) その他

2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行行程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

*電話での申込及び変更には応じられませんのでご了承ください。

3 申込条件

- (1) 申込締切は原則として2ヶ月前とします。
- (2) 平和学習の団体については事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

県内学校及び地域における学習支援	1回につき	5,000円
平和講話	1回につき	10,000円
ポイントガイド	1回につき	5,000円
バス乗車	1回につき	10,000円
その他	要相談	

※協力金は終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

4 平成28年度講話・ガイド活動実績件数

◎平成28年4月～平成29年3月までの活動状況

団体	団体件数	実施人数	派遣講師
高等学校	57（県内 3）	12,864	62
中学校	57（県内 9）	6,927	57
小学校	19（県内18）	9,171	19
その他	46	1,284	66
計	179	30,246	204

5 平成28年度活動内容

- (1) 2階常設展示室の解説員 配置実績60人
- (2) 協力事業：平成28年4月30日(土)「平和祈念財団」鯉のぼり掲揚式への協力
- (3) 友の会総会：平成28年5月14日(土)
- (4) 学習会1：平成28年5月28日(土) 平和学習ウォーク
学習会2：平成28年9月3日(土) わくこえ学習
「摩文仁での戦争体験者の証言を聞く」
- (5) 平和講話及びガイド、マスコミ等取材対応



総会のようす

XI 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（昭和49年沖縄県条例第30号）の全部を改正する。

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは工作物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

- 2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。
- 3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
- 3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。
 - (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
 - (2) 公益を害するおそれがあるとき。
 - (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

- 2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

- 第11条** 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。
- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
 - (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
 - (3) 許可に付した条件に違反したとき。
 - (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

- 第12条** 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

- 第13条** 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事の指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

- 第14条** 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。
- (1) 第18条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
 - (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

- 第15条** 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定〕

- 第16条** 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認められるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。
- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
 - (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
 - (3) 事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

〔指定管理者の指定等の告示〕

- 第17条** 知事は、前条の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。
- 2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

- 第18条** 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。
- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
 - (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
 - (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
 - (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

- 第19条** 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

- 第20条** 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

- 第21条** 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。
- 2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

- 第22条** この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第7条関係）

1 施設使用料

区 分		単 位	使 用 料
平和祈念資料館 (分館を除く。)	ホ ー ル	1時間につき	1,570円
	展 示 室	1日につき	4,520円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合は、この表の区分に従い、当該区分に定める額の100分の30に相当する額とする。
- 3 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関する規則（昭和49年沖縄県規則第57号）の全部を改正する。

〔趣旨〕

第1条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年沖縄県条例第11号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第2条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後4時30分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第3条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。

ただし、第1号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

(1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1月1日から同月3日まで

(3) 年末休館日 12月29日から同月31日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第4号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第4条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第1に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第5条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第2条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前6号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第2号、第3号及び第7号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第2号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第1項第4号、第5号及び第6号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第6条 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式。以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。

- 3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

- 第10条** 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。
- 3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。
- (1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。
 - (2) 国又は地方公共団体が使用するとき。
 - (3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

- 第11条** 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。
- (1) 天災その他使用者の責めに帰することができない事情により使用できなかったとき。
当該使用料の全額
 - (2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割。
 - (3) 使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割
- 2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

- 第12条** 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。
- (1) 沖縄県が使用するとき。 免除
 - (2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に関する事業を行うために使用するとき。 免除
 - (3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合
- 2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書（第9号様式）を知事に提出しなければならない。
- 3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書（第10号様式）を使用者に交付するものとする。

〔使用方法等の事前打合せ〕

第13条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

〔使用者の遵守事項〕

- 第14条** 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
- (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
 - (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
 - (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
 - (4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

〔行為の制限〕

- 第15条** 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。
- (1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為
 - (2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
 - (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
 - (4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布
 - (5) 許可された場所以外の場所への立入り
 - (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
 - (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
 - (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

〔損傷等の届出〕

第16条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

〔使用後の点検〕

第17条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

〔寄贈及び寄託〕

第18条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書（第11号様式）又は資料寄託申請書（第12号様式）を提出しなければならない。
- 3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

〔受領証の交付〕

第19条 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証（第13号様式）を交付するものとする。

〔寄託資料の保管〕

第20条 第18条第1項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

〔寄託資料の返還〕

第21条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

- 2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第22条 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第14号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第23条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第15号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第24条 第22条第1項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第25条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

- 2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。
- 3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第26条 条例第15条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第16号様式）によるものとする。

- 2 条例第15条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。
 - (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
 - (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市町村長が発行するものに限る。）
 - (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
 - (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
 - (5) 役員の名、住所及び履歴を記載した書類
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔事業報告書〕

第27条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第28条 条例第21条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。
- 3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 5 会長は運営協議会を代表し、会務を総理する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 8 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 9 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 10 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

- 11 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
 12 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
 13 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第29条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種別	品目	単位	使用料	
ホール	舞台	1台	300円	
	司会者卓	1台	150円	
	花台	1台	100円	
	金びょうぶ	1双	700円	
	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
		ワイヤレスマイク	1本	450円
		カセットテープレコーダー	1台	300円
		CDプレーヤー	1台	500円
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円
		レーザーディスクプレーヤー	1台	500円
	照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円
		サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円
		アップーホリゾンライト（150W×60灯）	1列	360円
ローアホリゾンライト（150W×60灯）		1列	300円	
フットライト（60W×48灯）		1列	100円	
フォロースポットライト（1KW）		1式	100円	
その他		映写機16mm	1台	1,260円
	スライドプロジェクター	1台	520円	
会議室	ダイナミックマイク	1本	230円	
	ワイヤレスマイク	1本	450円	
	カセットテープレコーダー	1台	300円	
	CDプレーヤー	1台	400円	
	ビデオデッキ（VHS）	1台	400円	
	その他	ビデオプロジェクター	1台	1,260円
	オーバーヘッドプロジェクター	1台	520円	
展示室	その他	展示ケース（大）	1台	1,000円
		展示ケース（小）	1台	500円

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区	分	単位	使用料
平和祈念資料館 （分館を除く）	ホール	1時間につき	2,110円
	展示室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展示室	1時間につき	100円

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

沖繩県立平和祈念資料館(旧館) 年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧										無 料 観 覧 者	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	備 考	
	観 覧 料 種 別					出 身 別										計
	大人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)	小人団体(%)	県内	県外	外国								
昭和50年度	13,784(75)	2,025(11)	1,759(9)	900(5)	900(5)							18,468	248	74		
51年度	9,520(53)	4,200(23)	963(5)	3,408(19)	3,408(19)							18,091	306	59		
52年度	10,480(54)	4,264(22)	818(4)	3,932(20)	3,932(20)							19,494	307	72		
53年度	14,022(40)	4,855(14)	1,877(5)	14,097(41)	14,097(41)							34,851	220	158		
54年度	22,288(41)	6,307(12)	3,600(7)	21,513(40)	21,513(40)							53,708	305	176		
55年度	20,727(39)	5,830(11)	3,109(6)	23,762(44)	23,762(44)					176		53,428	307	174		
56年度	20,215(34)	5,985(10)	3,367(6)	29,211(50)	29,211(50)					310		58,778	304	199		
57年度	26,357(36)	7,077(10)	4,243(6)	34,584(48)	34,584(48)					522		72,261	307	240		
58年度	26,359(35)	8,051(11)	4,827(6)	36,272(48)	36,272(48)					685		75,509	307	252		
59年度	27,265(34)	9,203(11)	3,932(5)	39,791(50)	39,791(50)					1,210		80,191	255	326		
60年度	29,888(31)	13,263(14)	4,701(5)	49,073(50)	49,073(50)					1,561		96,925	306	326		
61年度	27,529(27)	13,364(13)	4,629(5)	54,622(55)	54,622(55)					1,780		100,144	306	335		
62年度	40,566(34)	14,395(12)	5,441(5)	57,976(49)	57,976(49)					2,061		118,378	306	403		
63年度	45,058(34)	16,719(13)	5,557(4)	63,910(49)	63,910(49)					2,952		131,244	306	440		
平成元年度	35,325(31)	14,477(12)	7,016(6)	59,363(51)	59,363(51)					3,640		116,181	307	397		
2年度	29,514(29)	12,281(12)	5,950(6)	52,511(52)	52,511(52)					3,391		100,256	306	388		
3年度	26,687(30)	11,246(13)	5,279(6)	45,409(51)	45,409(51)					3,501		88,621	305	320		
4年度	26,500(32)	9,778(12)	5,661(7)	40,021(49)	40,021(49)					3,752		81,960	307	303		
5年度	22,667(28)	11,191(14)	5,683(7)	41,461(51)	41,461(51)					3,600		81,002	310	274		
6年度	18,056(23)	9,161(12)	4,563(6)	48,084(60)	48,084(60)					3,785		79,864	310	267		
7年度	70,319(45)	16,676(11)	13,837(9)	53,282(35)	53,282(35)					4,046		154,114	308	525		
8年度	59,643(39)	16,393(11)	11,056(7)	64,840(43)	64,840(43)					3,506		151,932	311	507		
9年度	62,485(35)	13,247(8)	10,137(6)	91,099(55)	91,099(55)					2,951		176,968	310	593		
10年度	58,196(35)	10,647(6)	10,426(6)	89,965(53)	89,965(53)					2,828		169,234	312	558		
11年度	59,654(34)	8,367(4)	9,952(6)	97,464(56)	97,464(56)					2,585		175,437	295	611		
												2,307,039				
												104,723				
												2,411,762				

沖縄戦の実相にふれるたびに
戦争というものは
これほど残忍で、これほど活版屋にまみれたものはない
と思うのです

この、なまなましい体験のまじり
はかなる人でも
戦争を肯定し美化することは、できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です

しかし、それ以上に
戦争を誘うない奴力のできるのも
私たち 人間 ではないでしょうか

戦後このかた 私たちは
あらゆる戦争を増み
平和な自由を建設せねば、と思いつけてきました

これが
あまりにも大きすぎた代償を払って得た
ゆするものではない
私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館 展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第17号

2017（平成29）年6月

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住 所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp

八重山平和祈念館（分館）

住 所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

